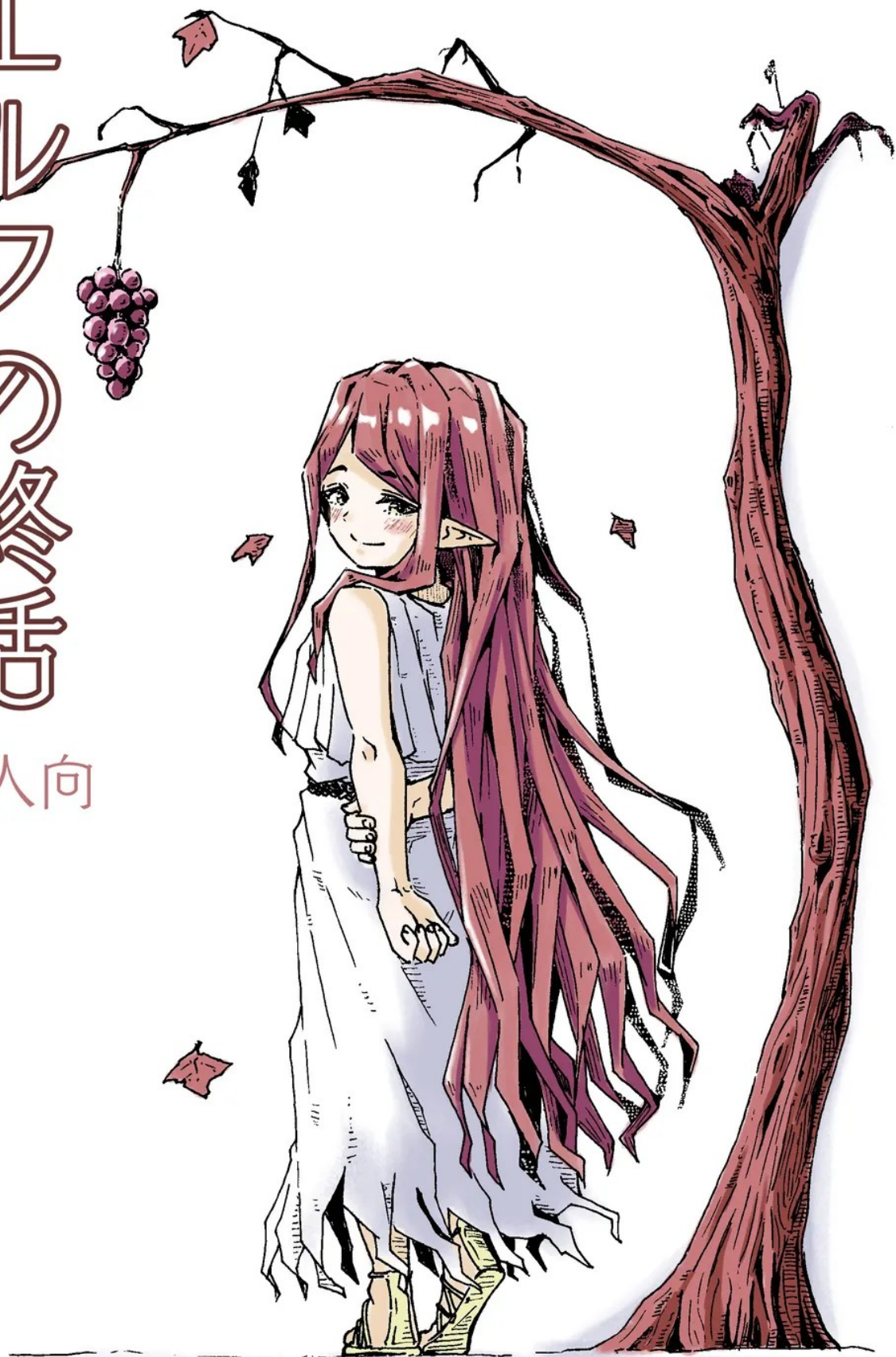


エルフの終活

成人向



ふふっ

この世界は未知に溢れている…

はあ

はあ

特にここ…
『世界樹の森』は
その宝庫だ

はあ…

異常な植生と生態

…ふう

知られている事は
魔力と呼ばれる
大地の持つ力

それが影響を
及ぼしている
ということだけ

ザッ

その力を吸い上げ
巨大に成長した樹木
『世界樹』

さすがに禁域が
近いと危険も
多いな…

世界樹の根元と
その周辺は
禁域と呼ばれ

むやみに
立ち入る事は
禁じられている

禁じられている
理由はいくつかあり

通常の生物にとって
毒となる魔力に
溢れた環境

やはり内臓は大分
魔力をため込ん
でるな…

素材としての
価値はあるか？

出来れば無駄に
したくないが…

それに適応した
動植物の危険性

すまない…

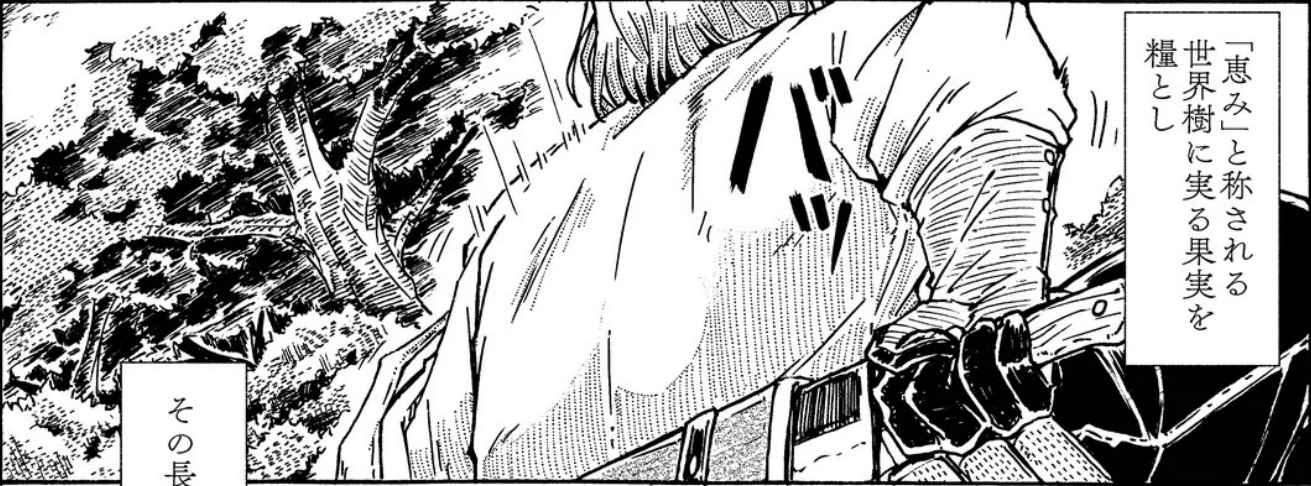


そしてその禁域で
暮らすとある種族の
存在…



カサ…

世界樹を
崇め守り




「恵み」と称される
世界樹に実る果実を
糧とし

その長き一生を



世界樹と共に
生きる…

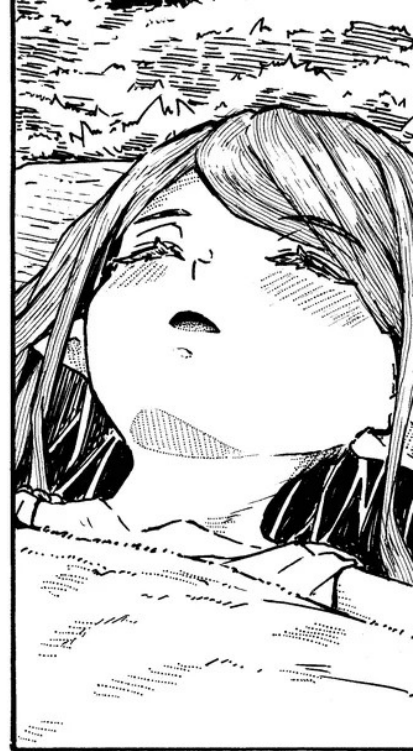
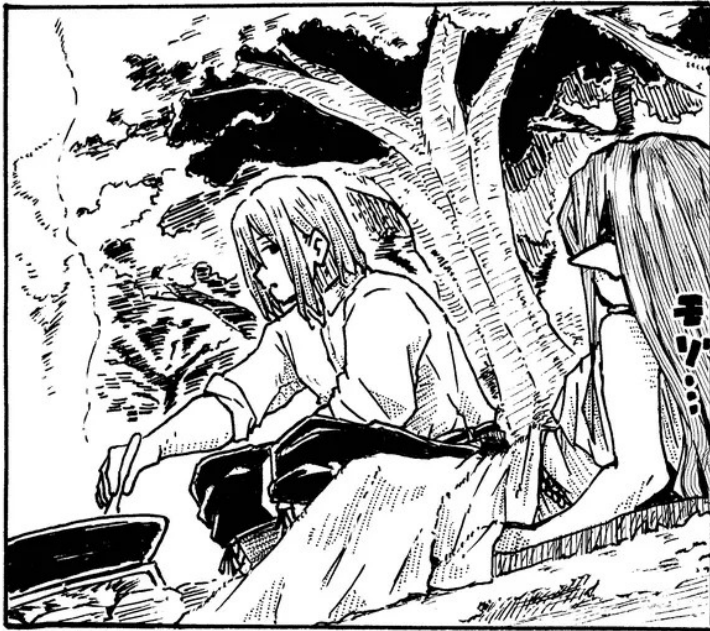


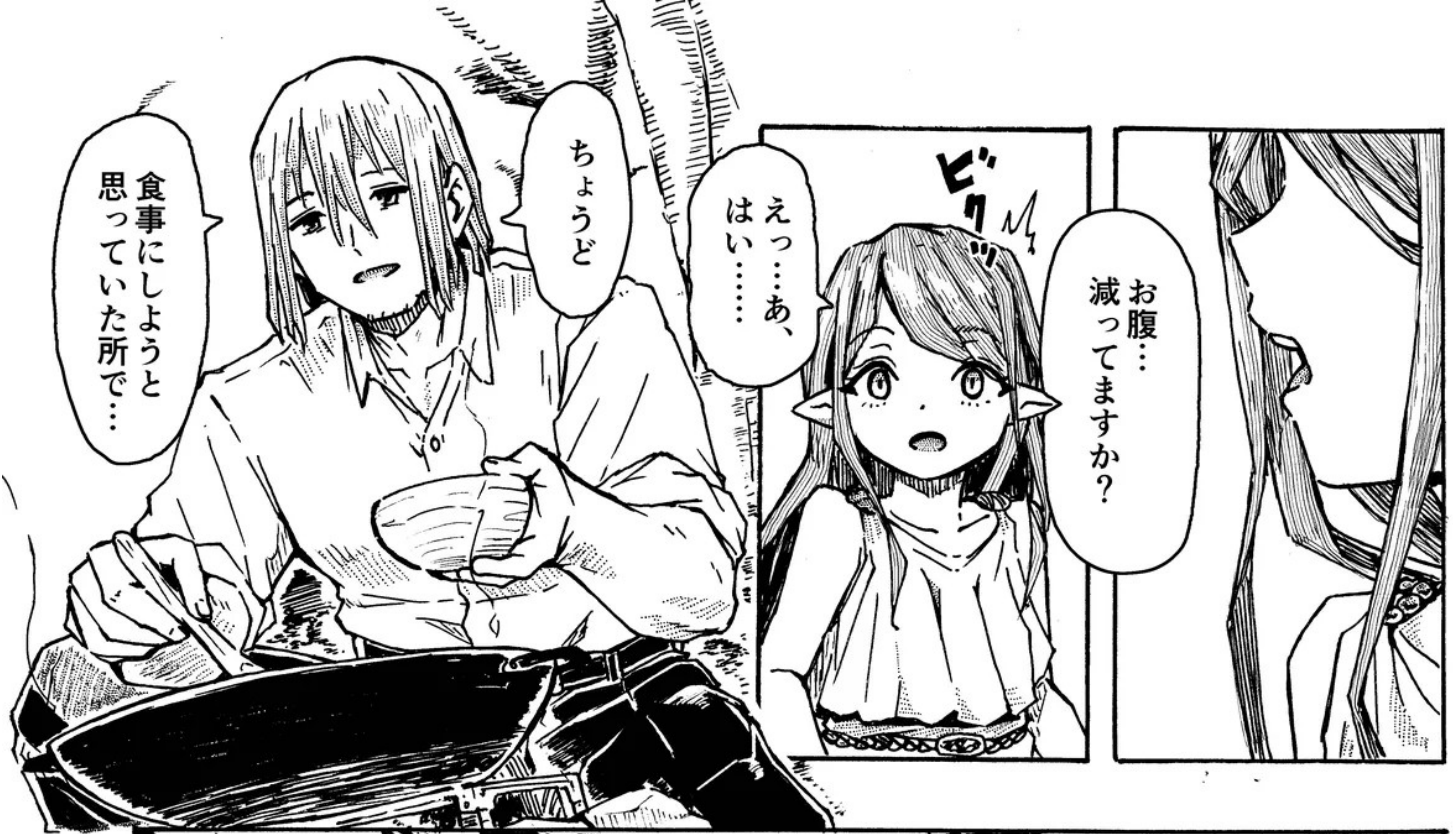
エルフ族…

その存在だ……

『エルフの終活』









以前にも
こんな風に頂いた
ことがあります

ですがそちらは
いただけません

今の私は…

「恵み」すら碌に
受け付けない
身体ですから…



「恵み」なんてものは
はつきり言って
劇毒だ

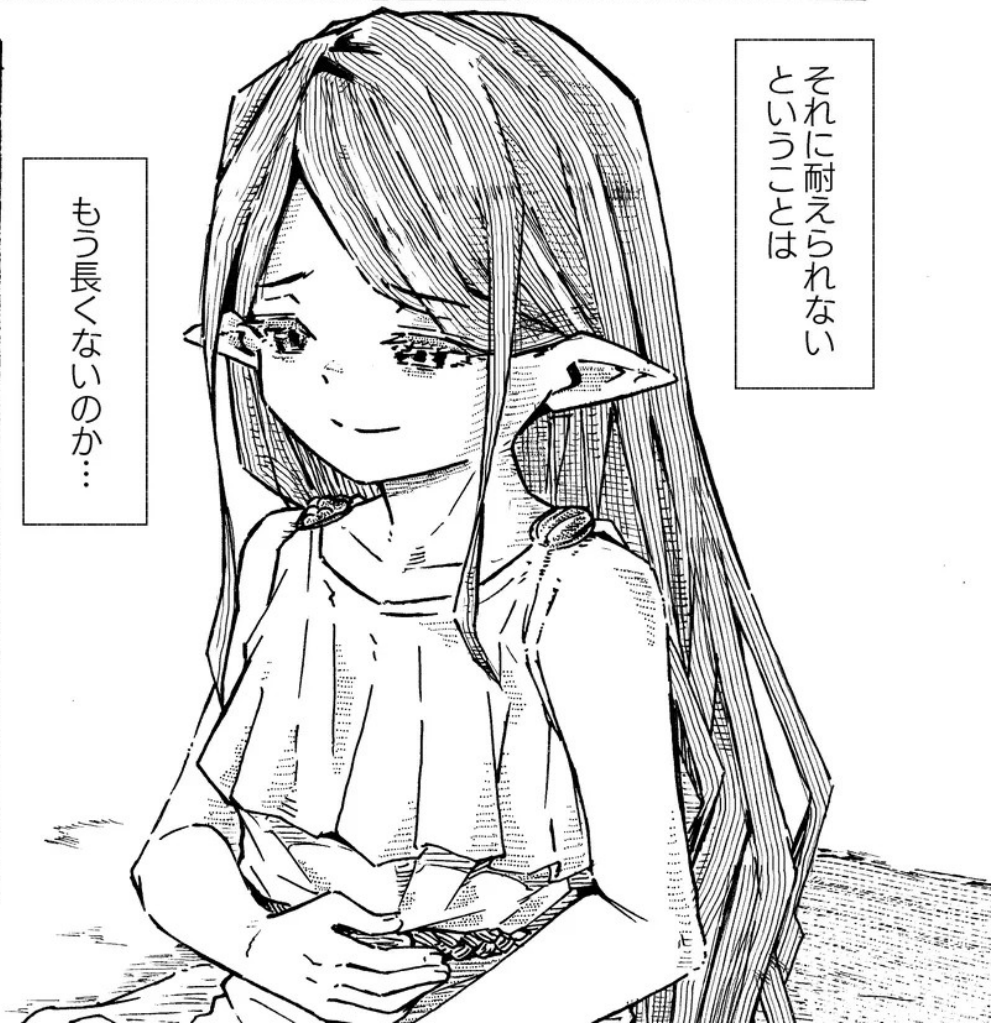
ただエルフには
それに耐えられる
魔力耐性があるだけ

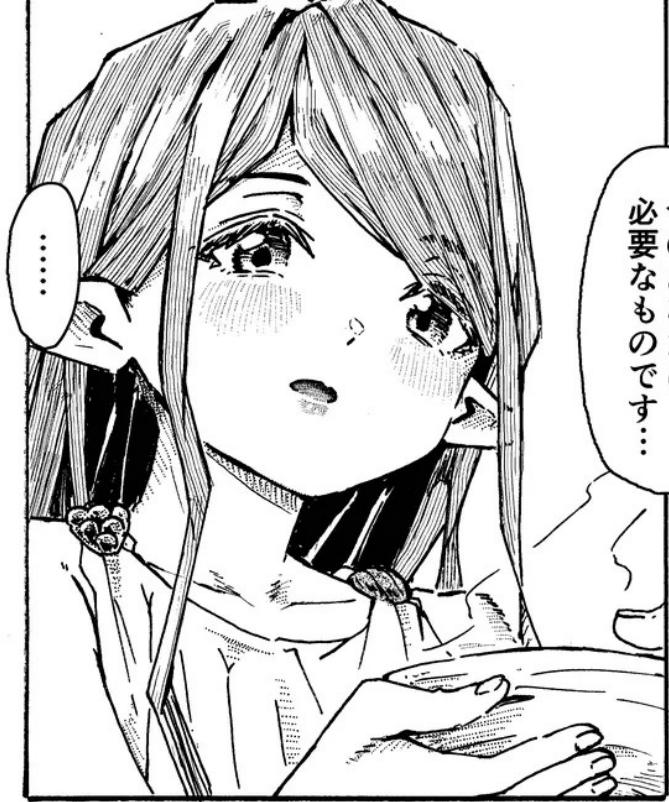


それなら尚更
食べるべきだ

もう長くないのか…

それに耐えられない
ということ





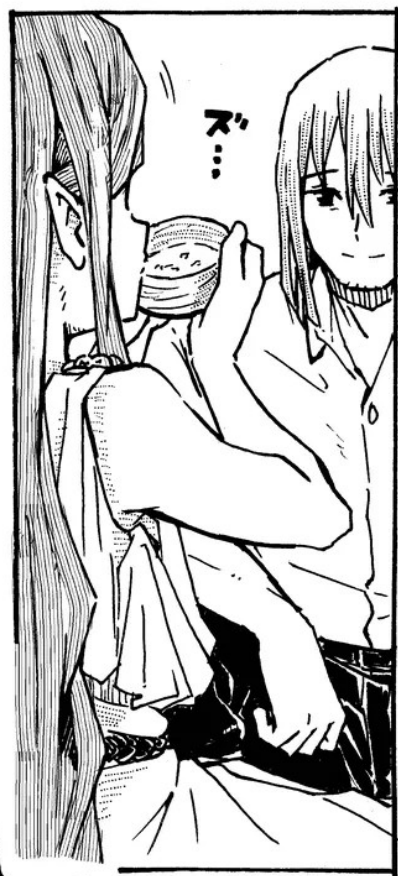
今のあなたに
必要なものです…



おそろく



美味しい…



ス…

ありがとうございます
ございました
色々...

慣れないと思いますが
調理次第で今後も食事は
続けられると思います

...

あの...
これから
どこへ...

探索も終わったので
そろそろ出ようかと

森の外に

ピク

それでは...

あ、あのっ！

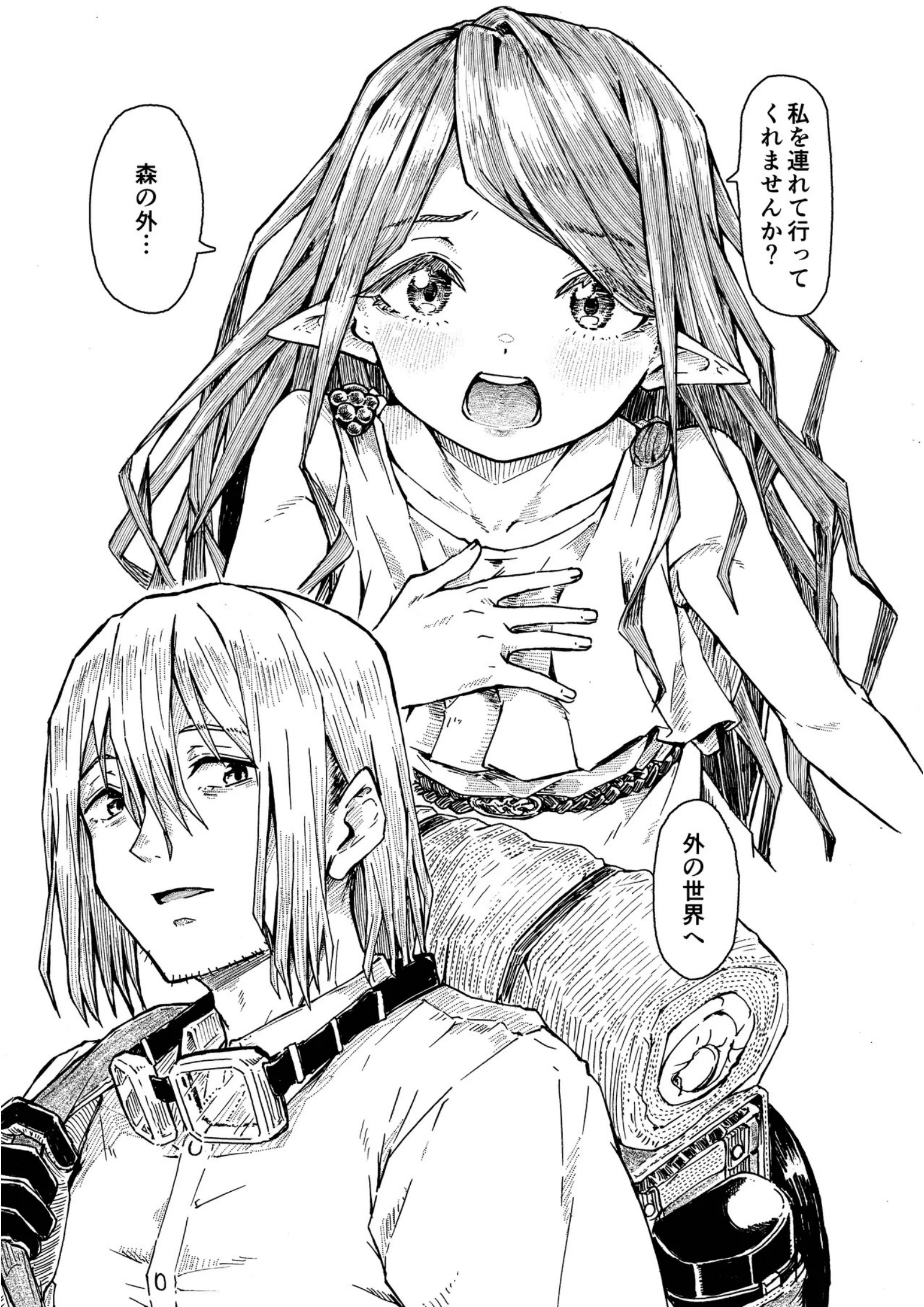
どうしました？

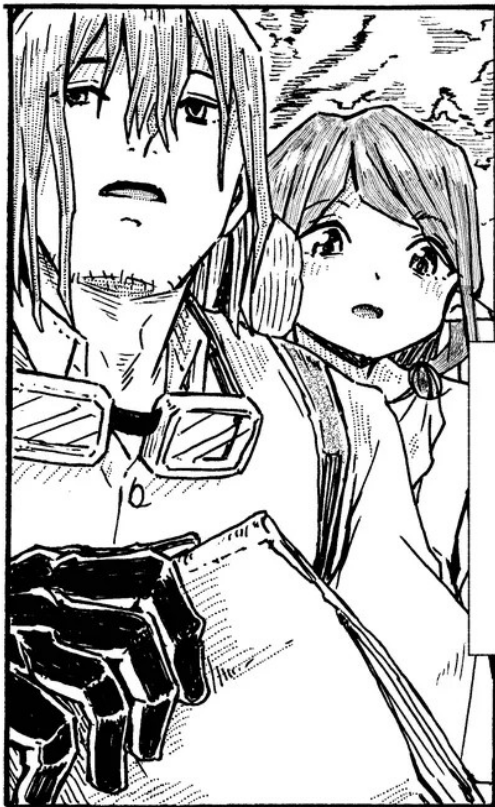
ピク

私を連れて行って
くれませんか？

森の外…

外の世界へ





もう…
戻りませんから…



かまいませんが：
里に戻らなくても
いいんですか？



実は元々
外に出たくて里を
出てきたんです



最後に外の世界を
見てみたくて…

…そう、
だったんですか

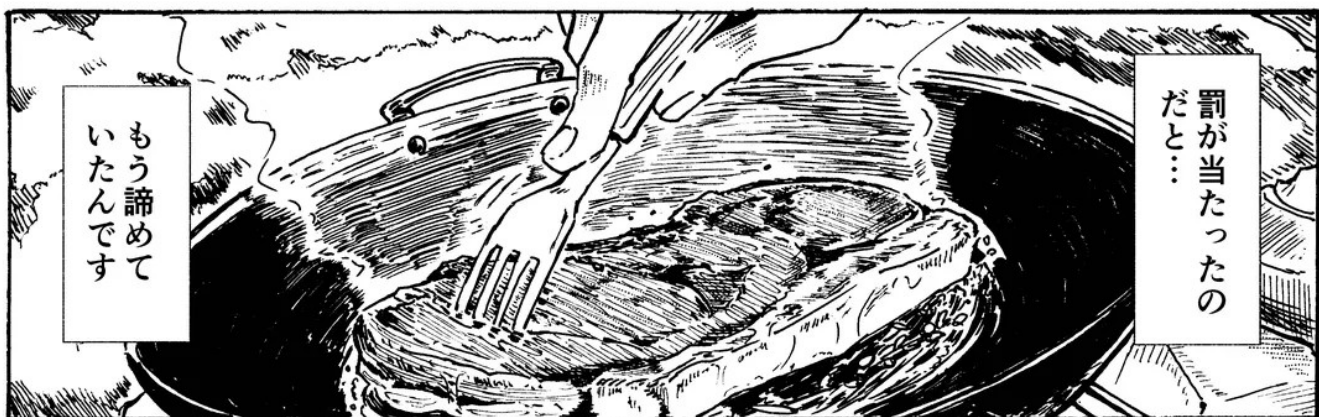


私に残された最後の役目：

この命を世界樹に返すこと

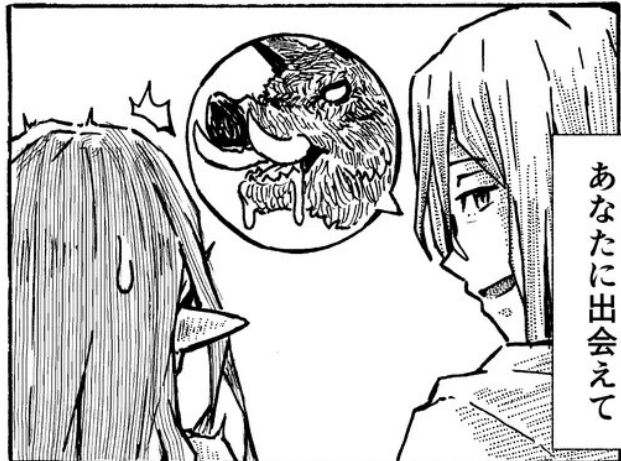
エルフとしての定め世界樹を捨て里を出たものの

結局森を抜けられずあのような事に…



罰が当たったのだと…

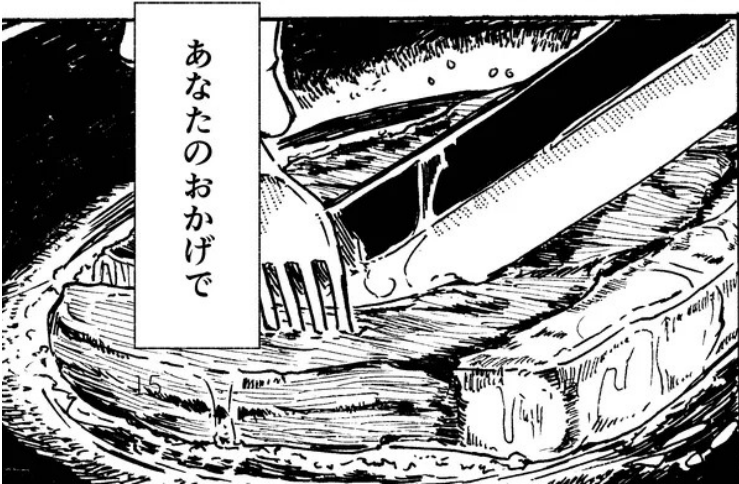
もう諦めていたんです



ですが…あなたに出会えて



あのまま終わるのだと…



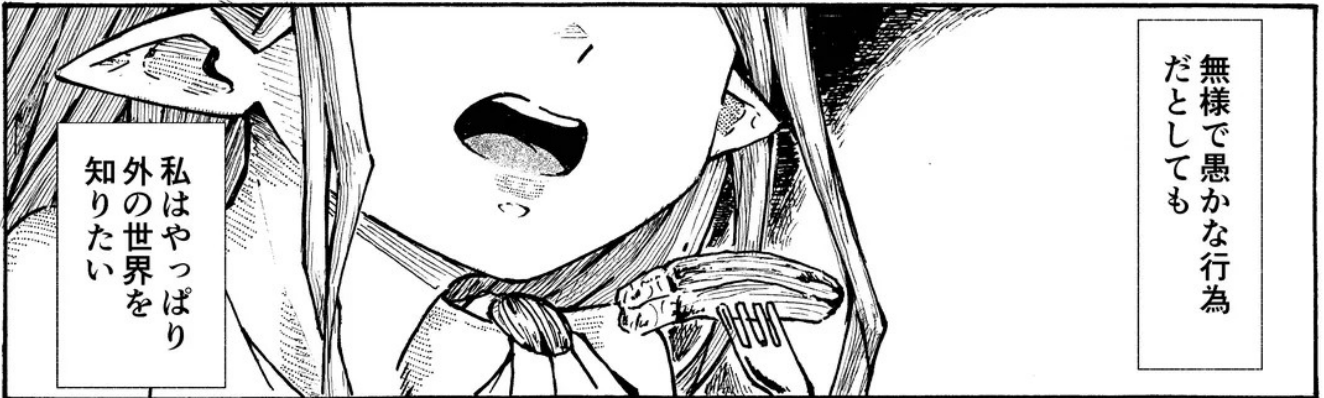
あなたのおかげで



また外の世界に
触れることが
できた

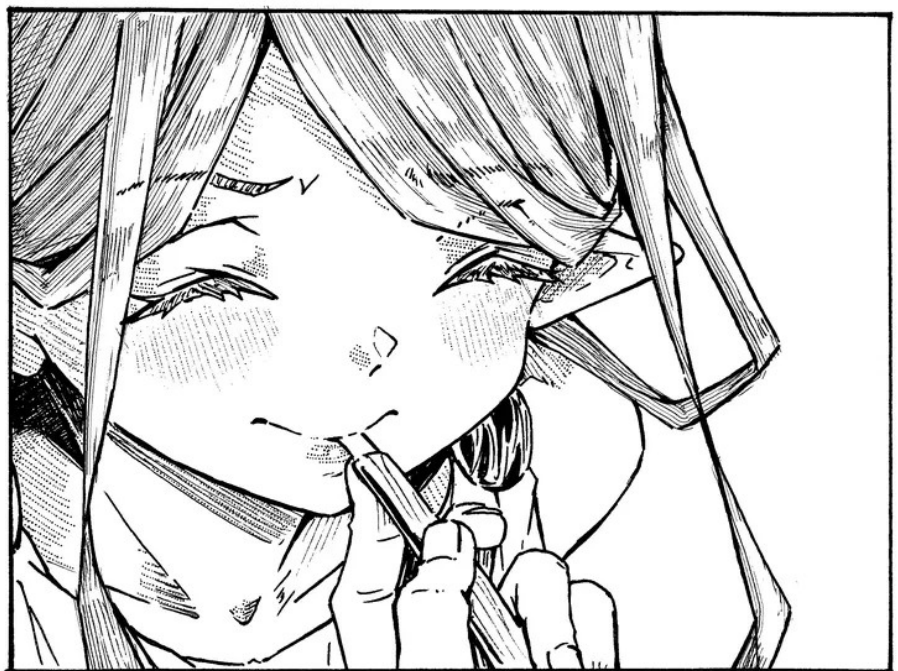



かつて料理を口に
した時のように…



私はやっぱり
外の世界を
知りたい

無様で愚かな行為
だとしても

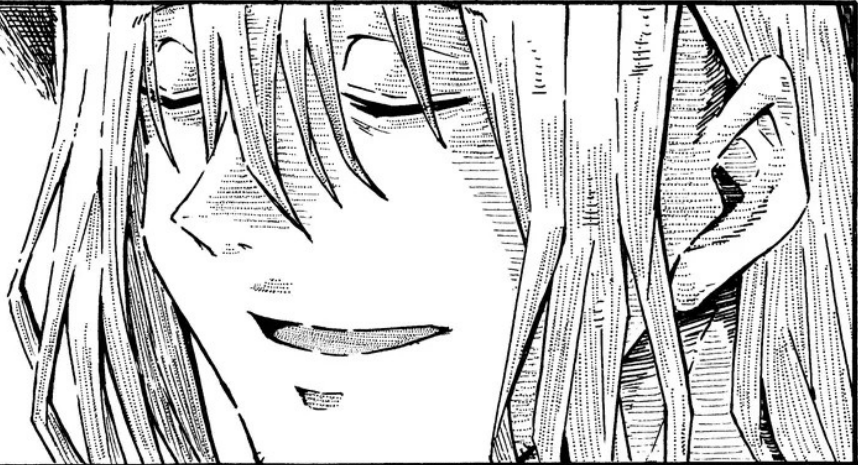




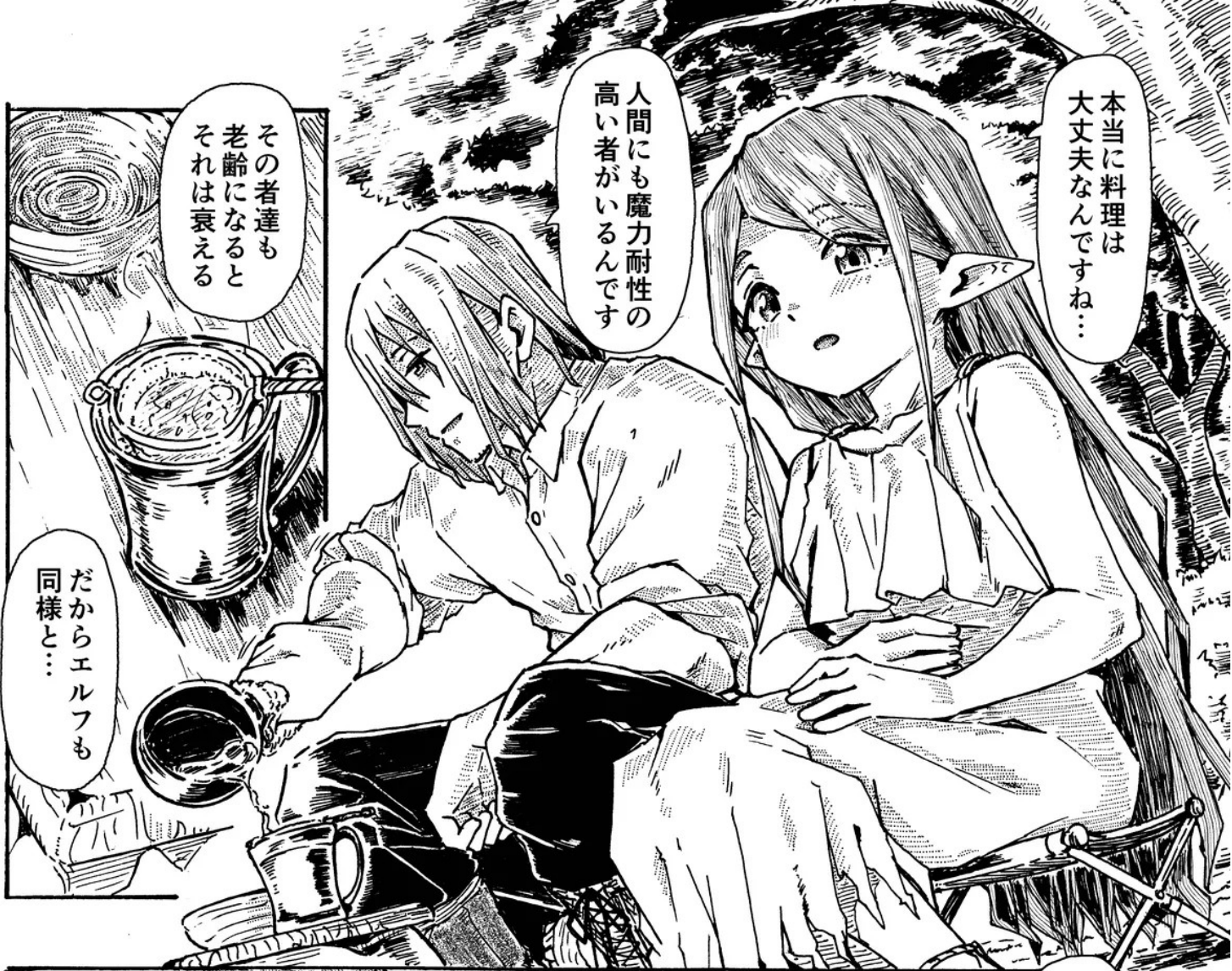
たとえ短い時で
あっても…

それだけの
価値があると

そう思ったから…



結局あなたに
頼り切りですが…



本当に料理は
大丈夫なんですネ…

人間にも魔力耐性の
高い者がいるんです

その者達も
老齢になると
それは衰える

だからエルフも
同様と…



聞いたことが
あっただけで

確証はなかつた
んですが…

大丈夫そうで
よかつた

えっ？

そうだったんで
すか？



知識として
知っていても…

それが当てはまる
かはわかりません

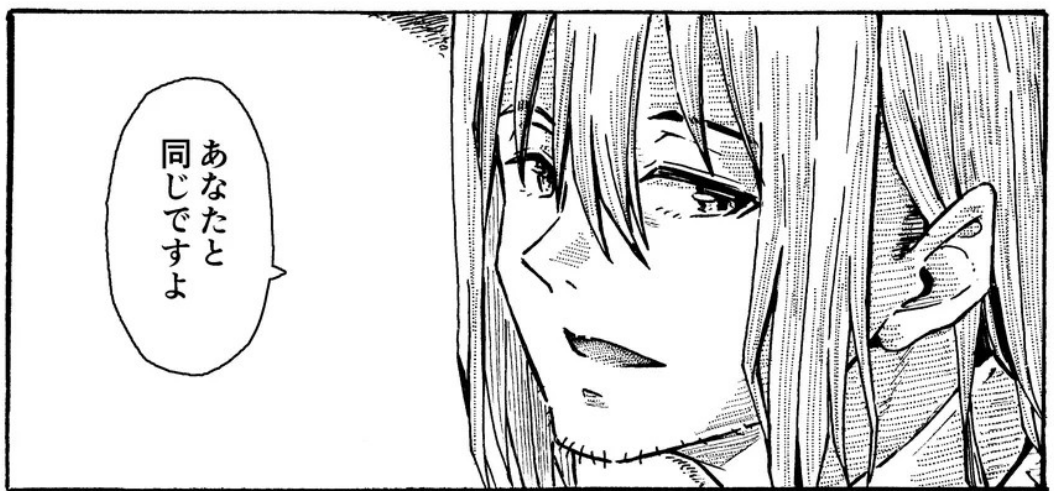
それで失敗も
たくさんしました



それでも
この世界を
知りたくて

たとえ危険だと
しても

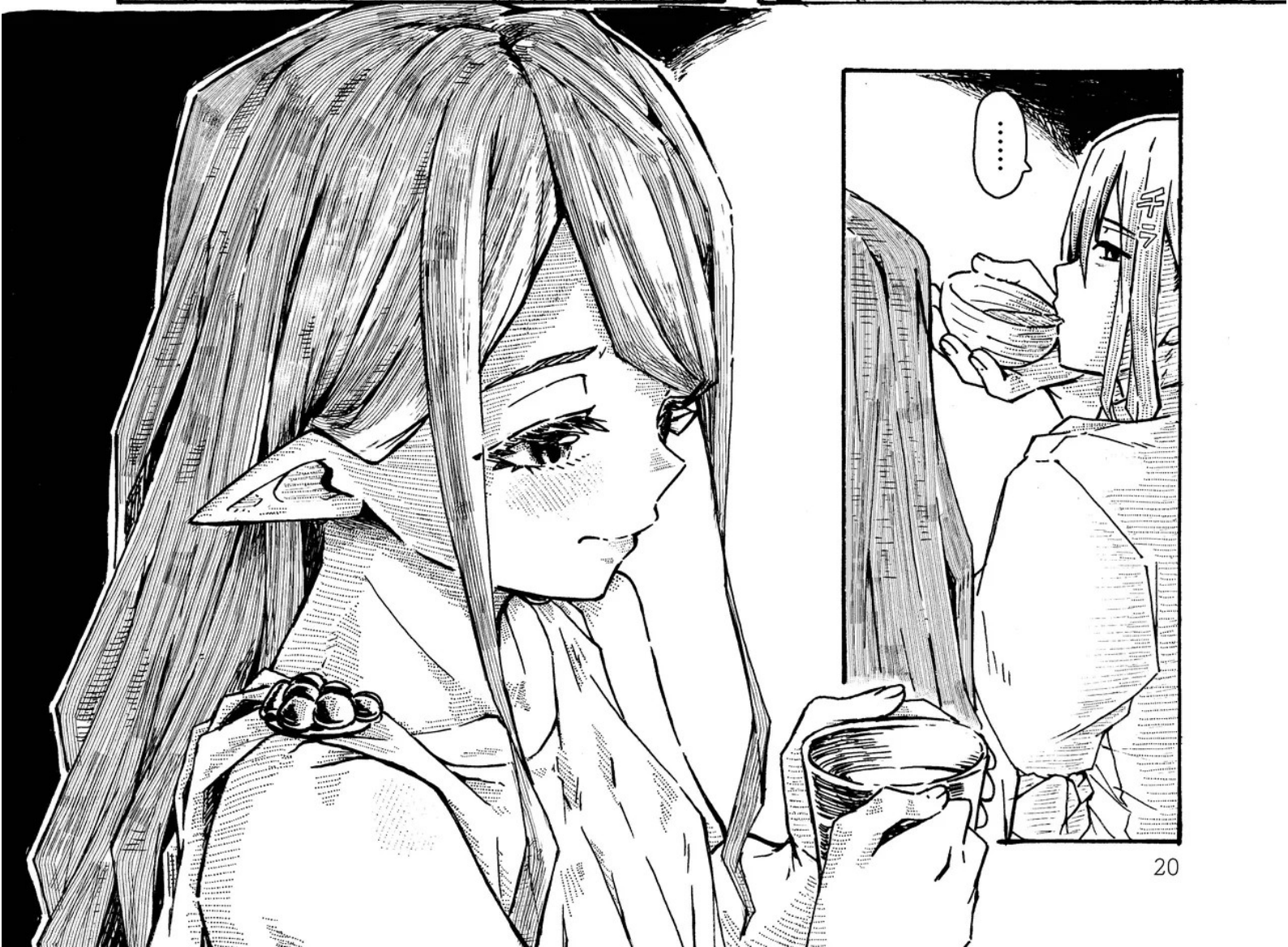
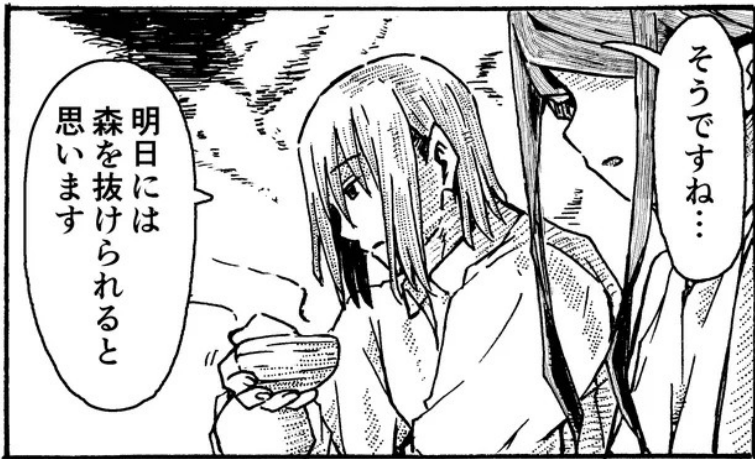
こんな所まで
きている…

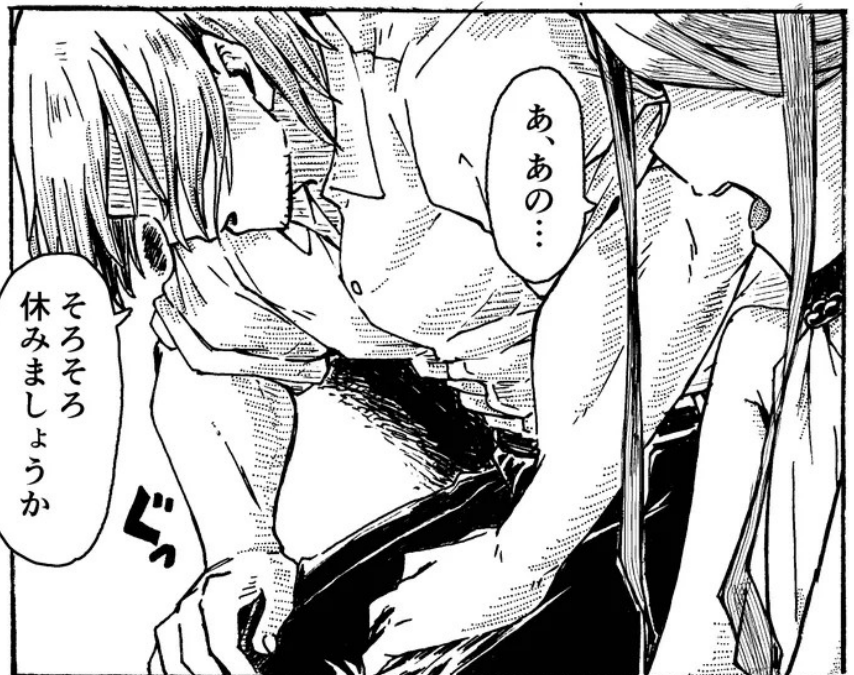


あなたと
同じですよ



…

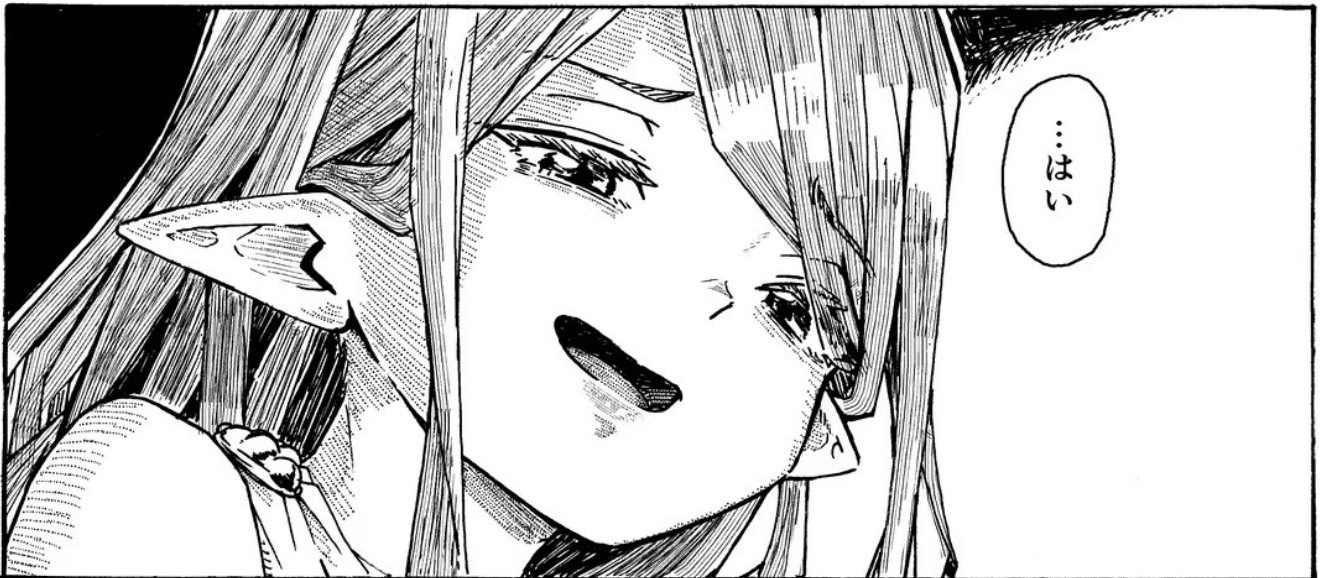




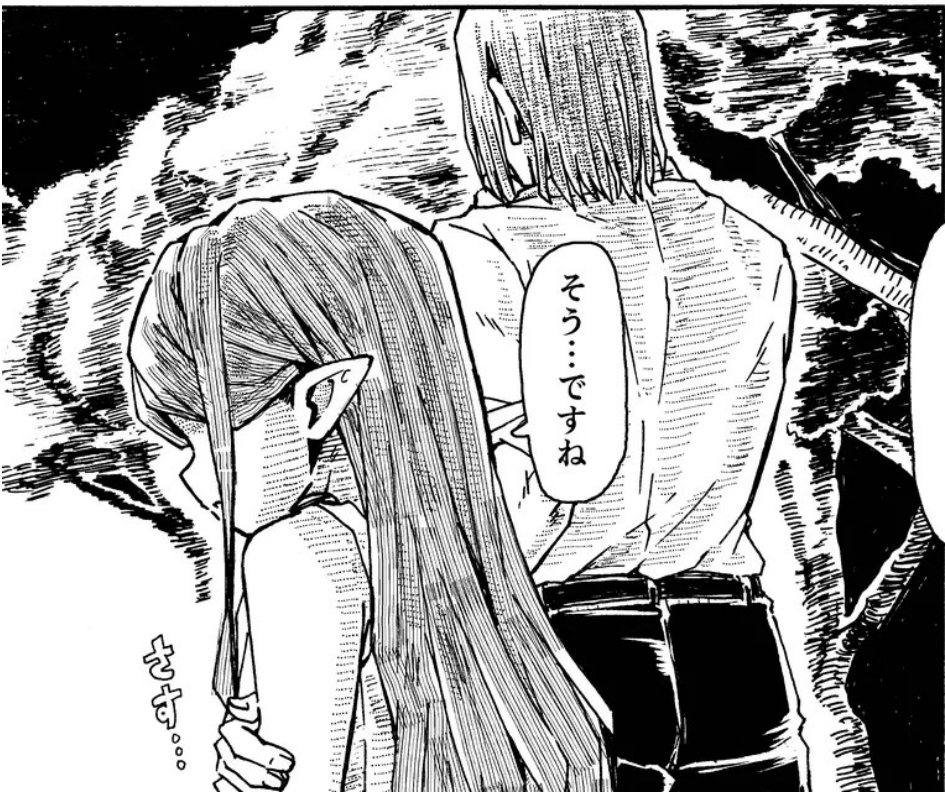
そろそろ
休みましようか

あ、あの…

びん



…はい



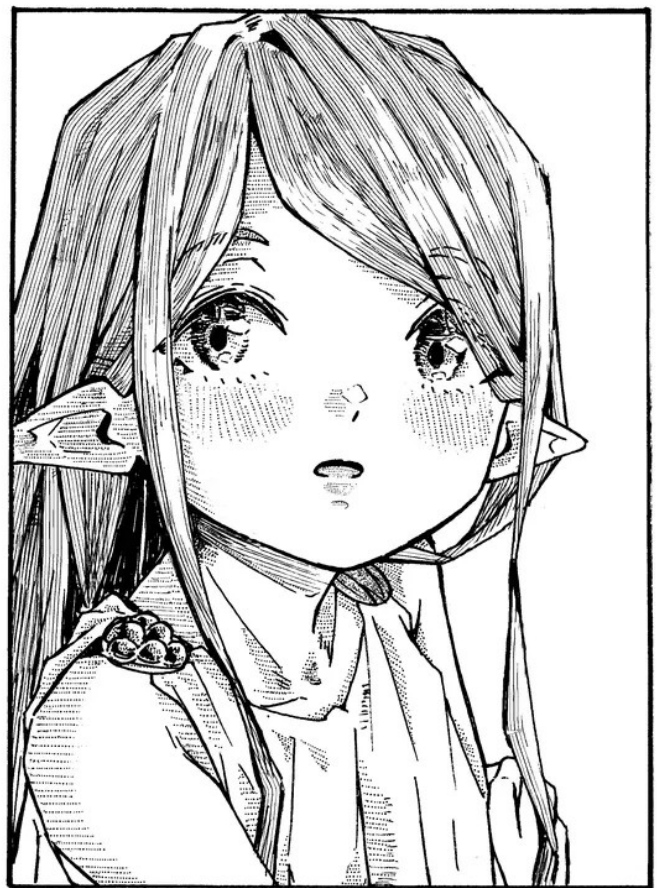
そう…ですね

今日は冷えますね



それにしても

とす…





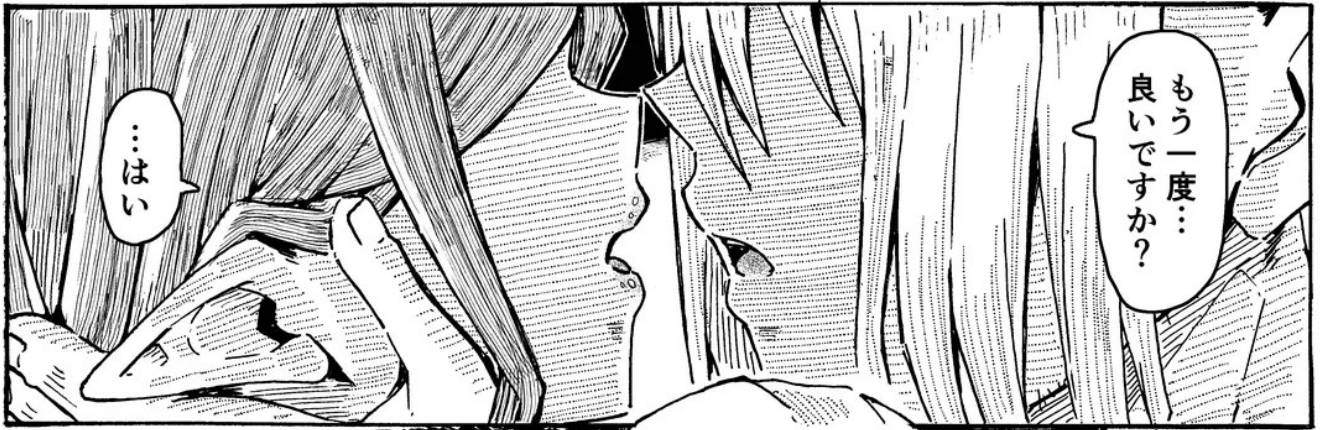
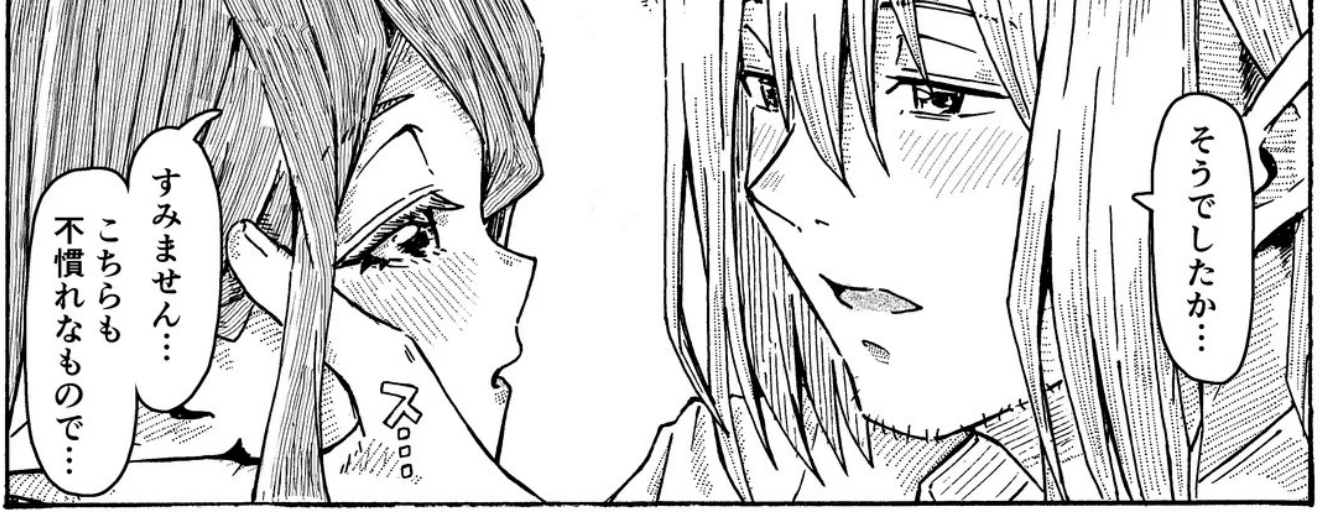
そう…ですね

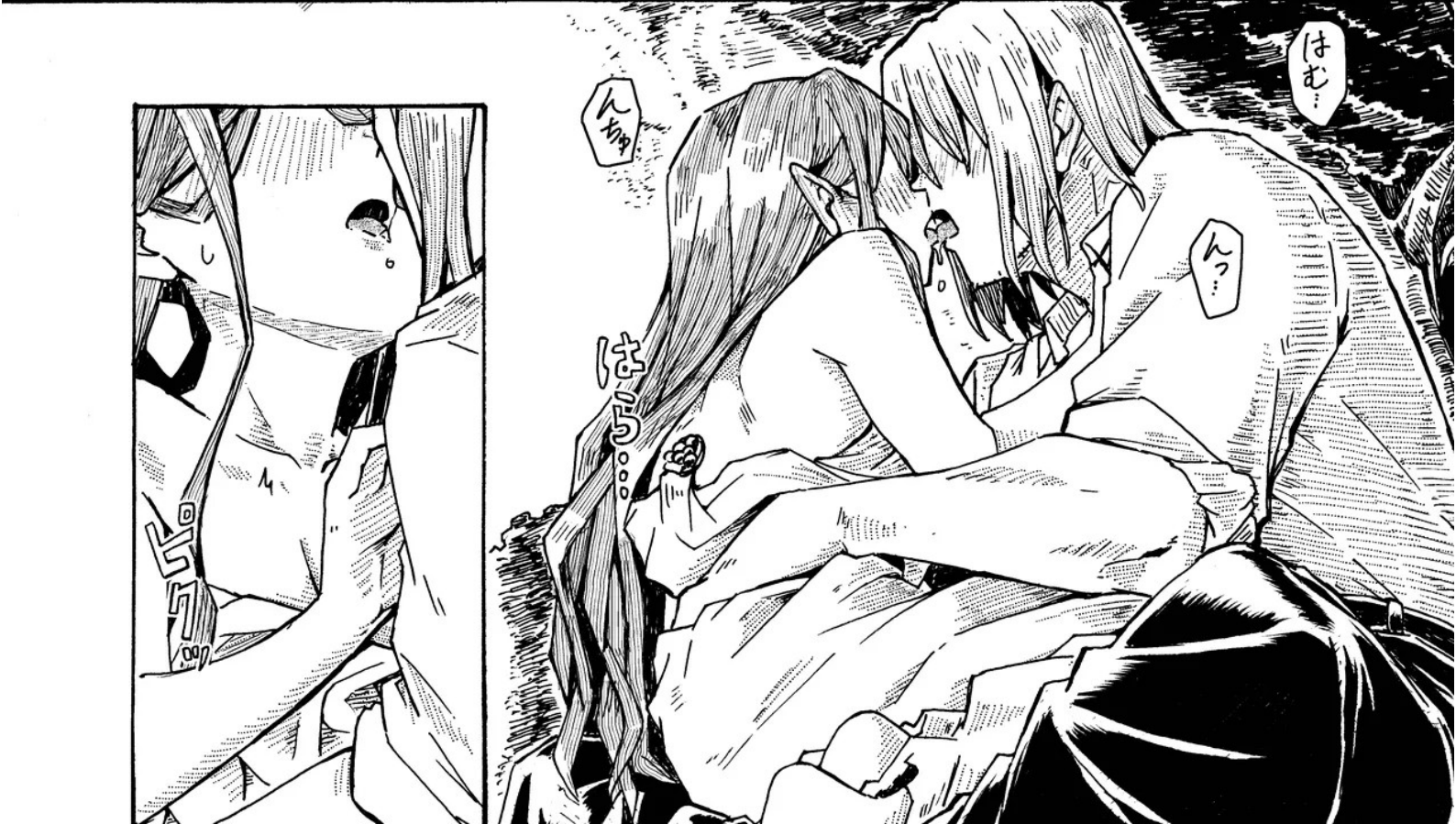
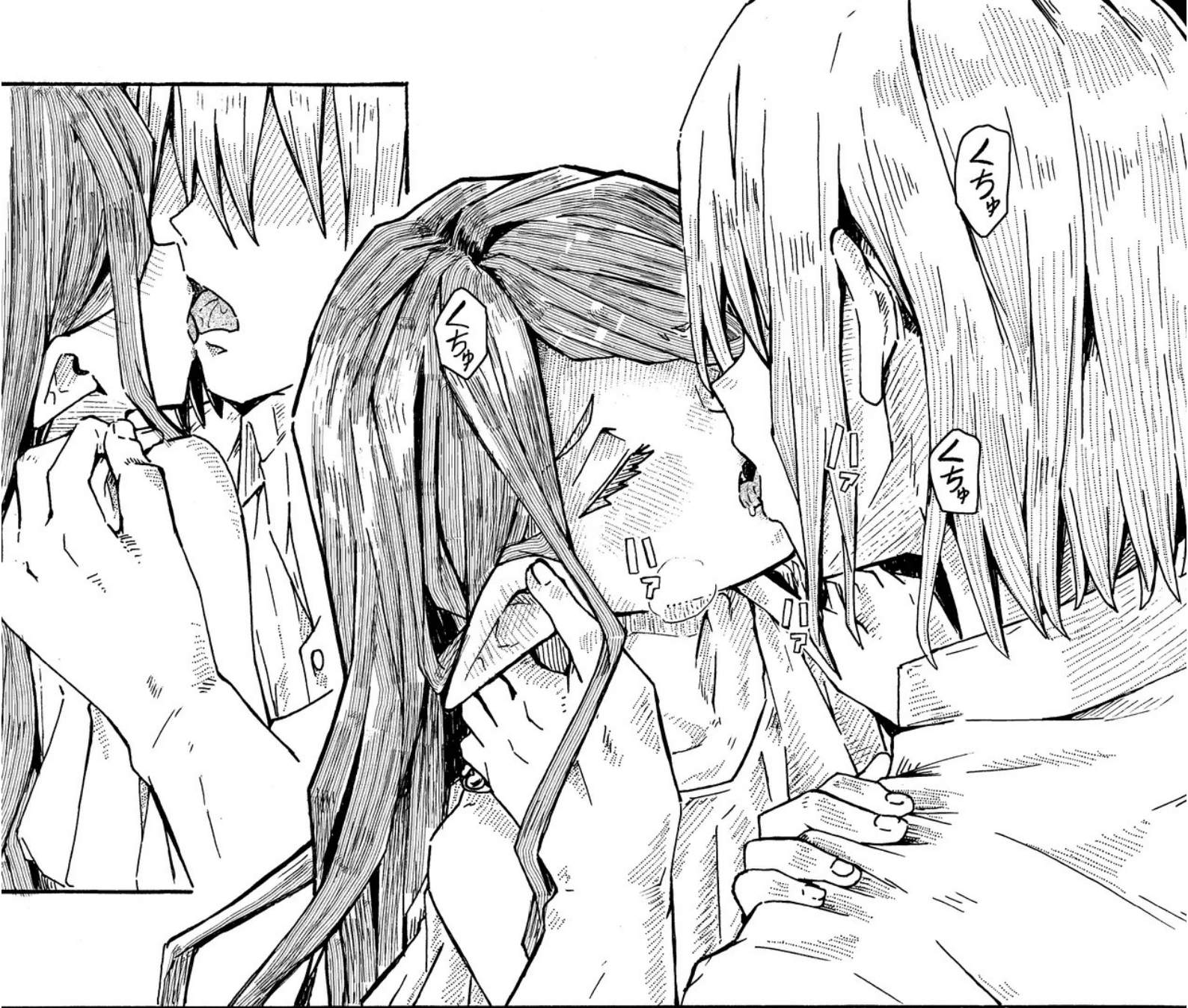


こういう事は、初めてで...

あっ...はい
その...
恥ずかしながら

大丈夫ですか？







ど、ど、ど...
されました？



す、すみません...

恥ずかしくて
...つい

何分：
老体ですので

ズズ...



見ての通り…

大分衰えて
いますので

…

ナァァァ



お見苦しいかと
思いますか…

ギチ…

ギチ…



あっ

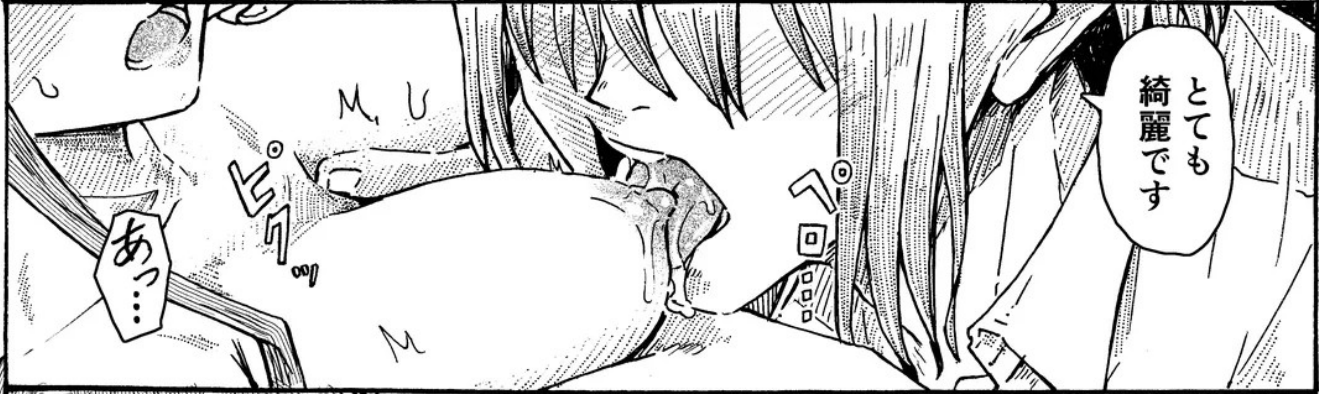
グッ

グ



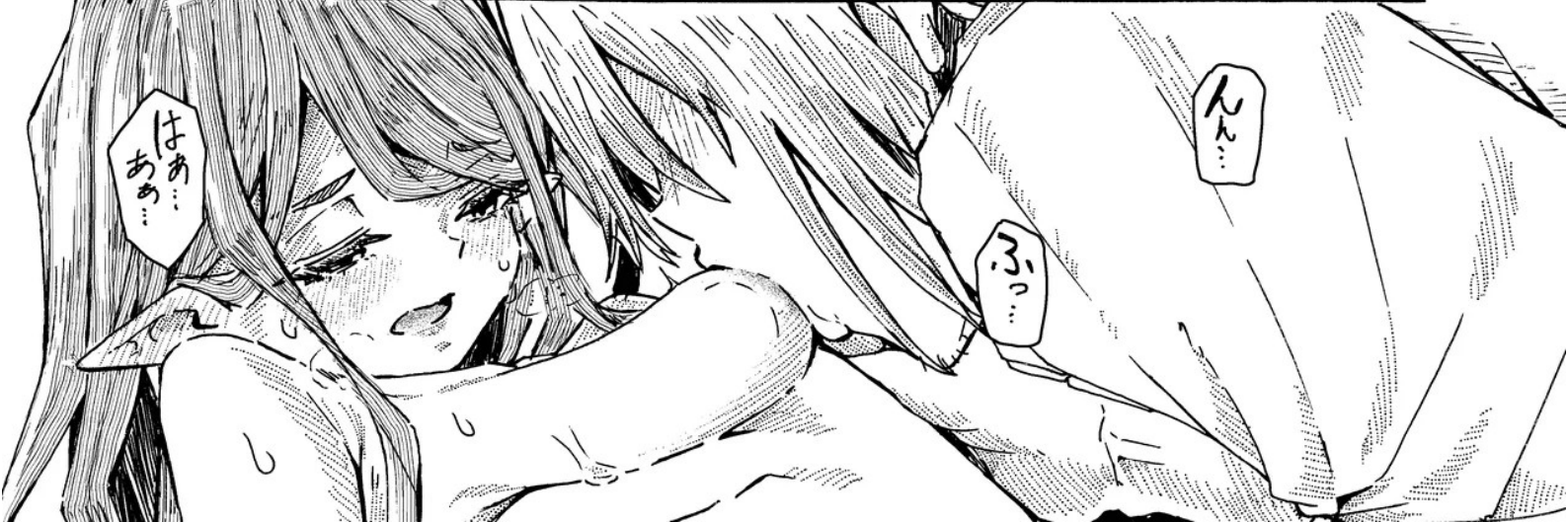
そんなこと
ありませんよ

えっ…



とても
綺麗です

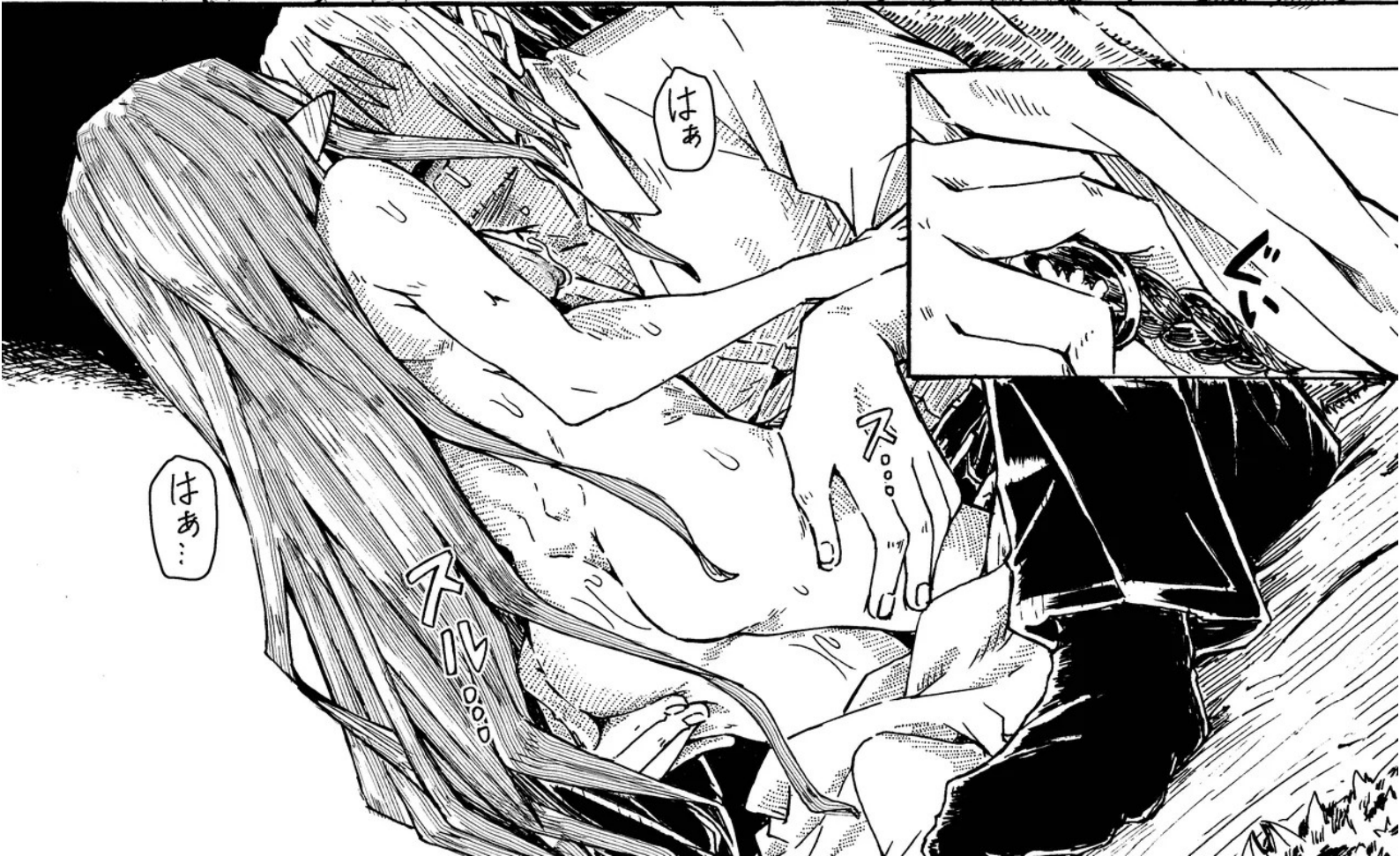
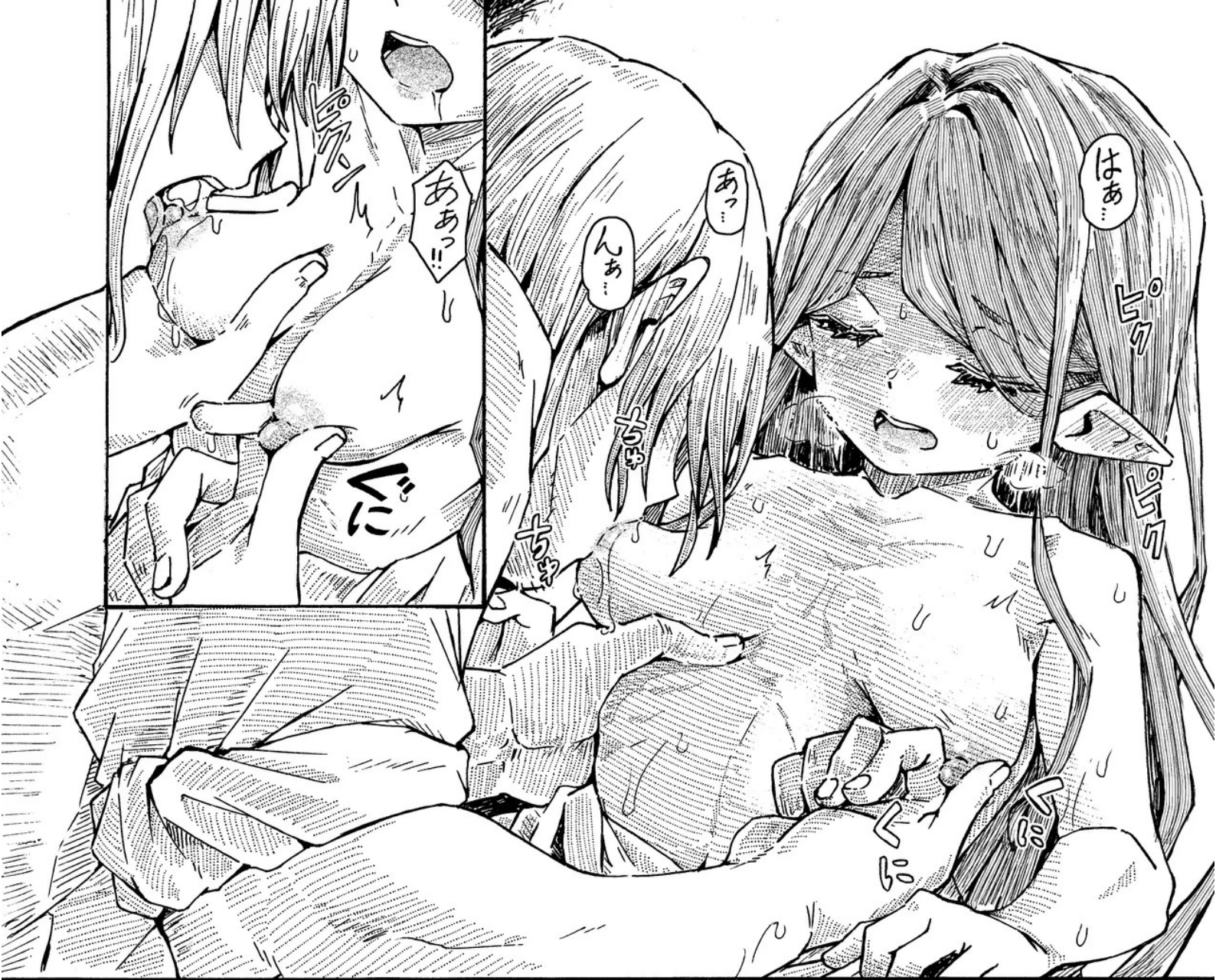
あ…



ん…

はあ…
ああ…

ふっ…





はあ...

はあ...

はあ...

ちや



あああ
あああ!!

ドム
ドム
ドム

んあ

ドム

ドム

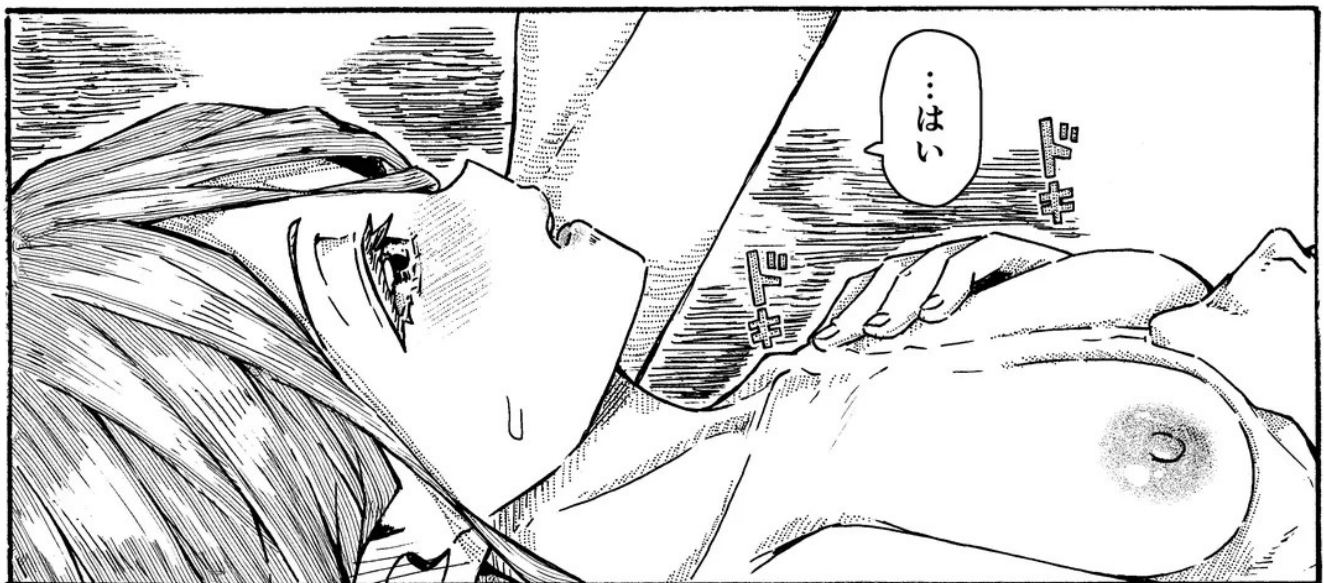
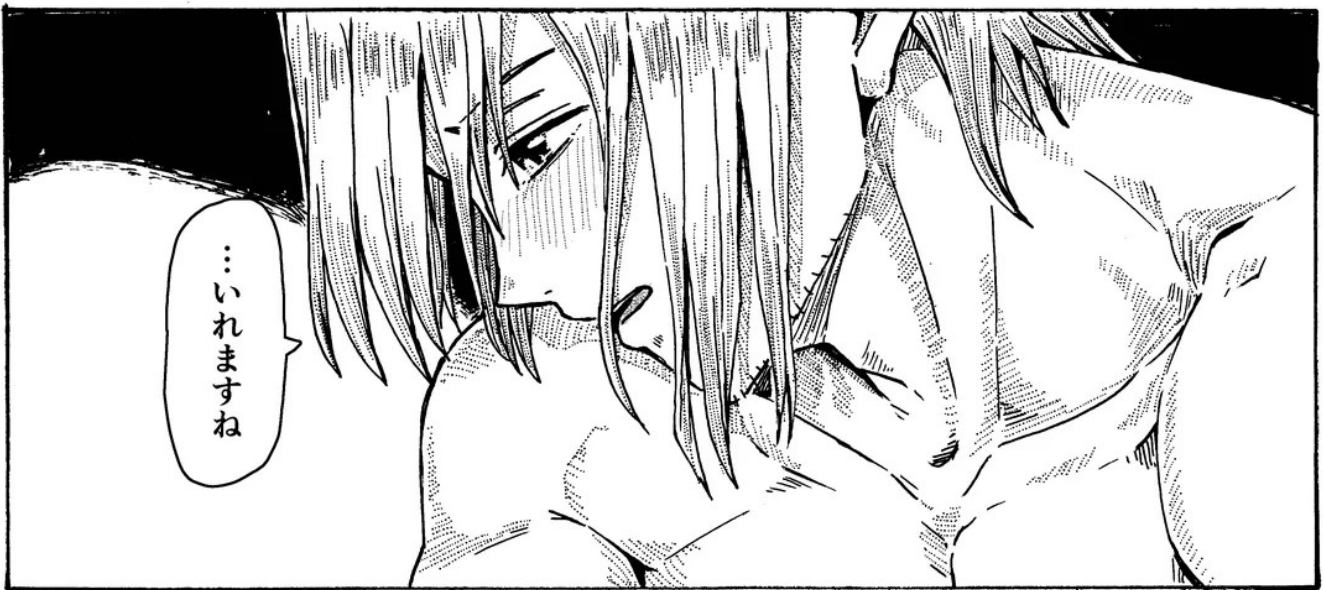


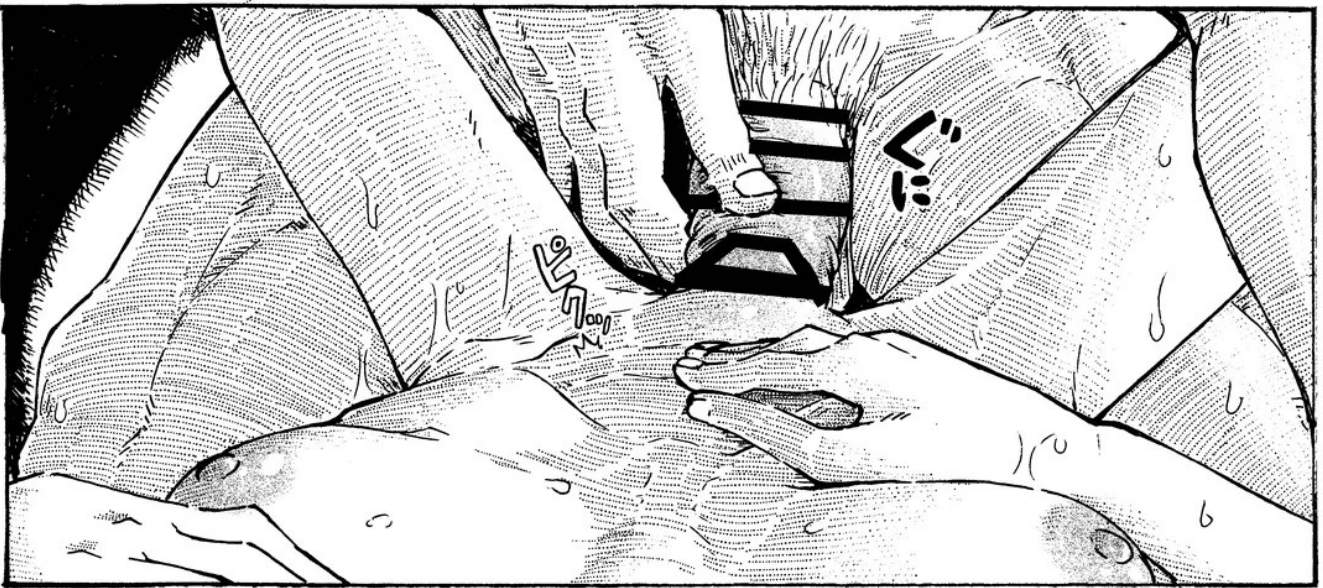
あ...

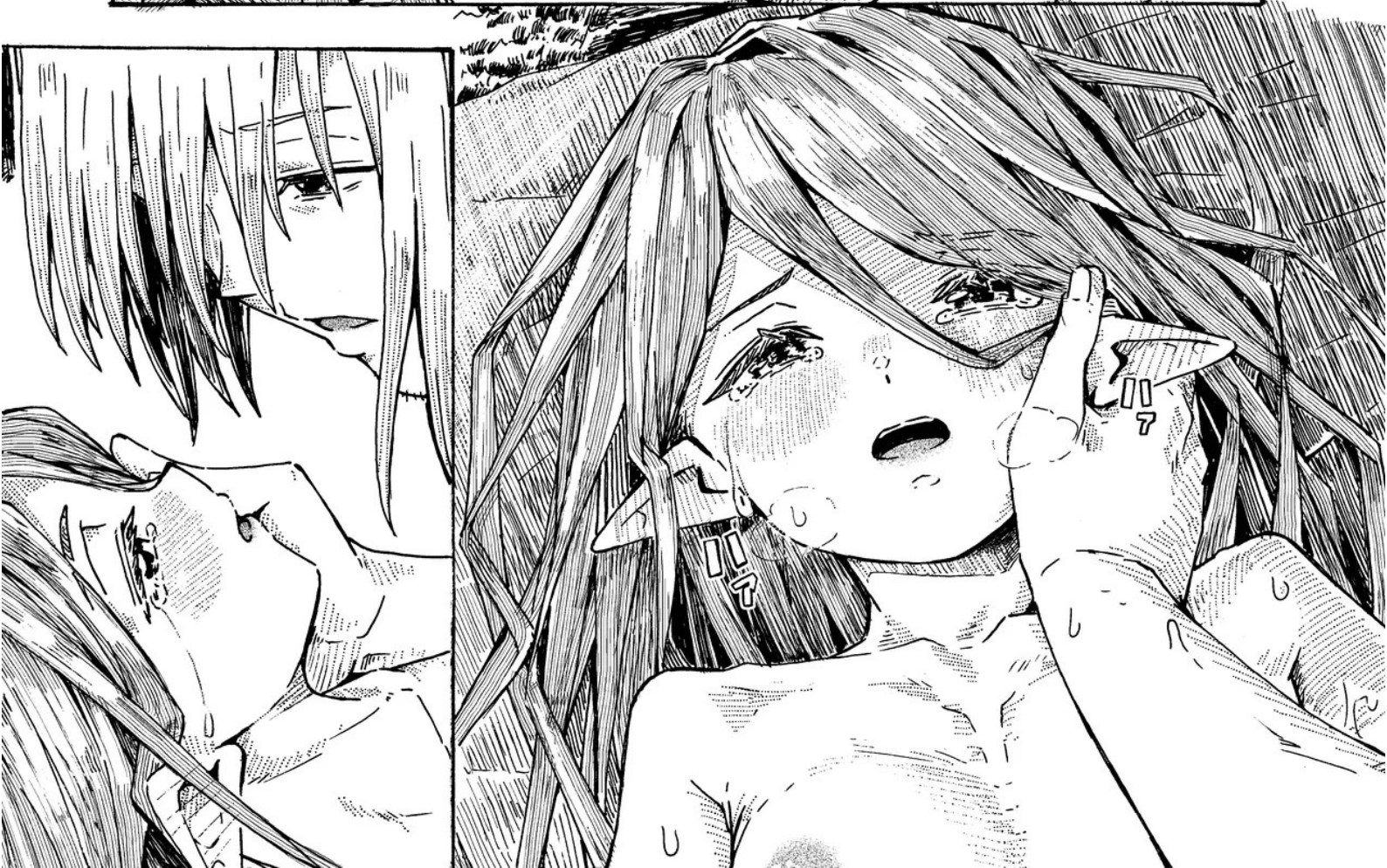
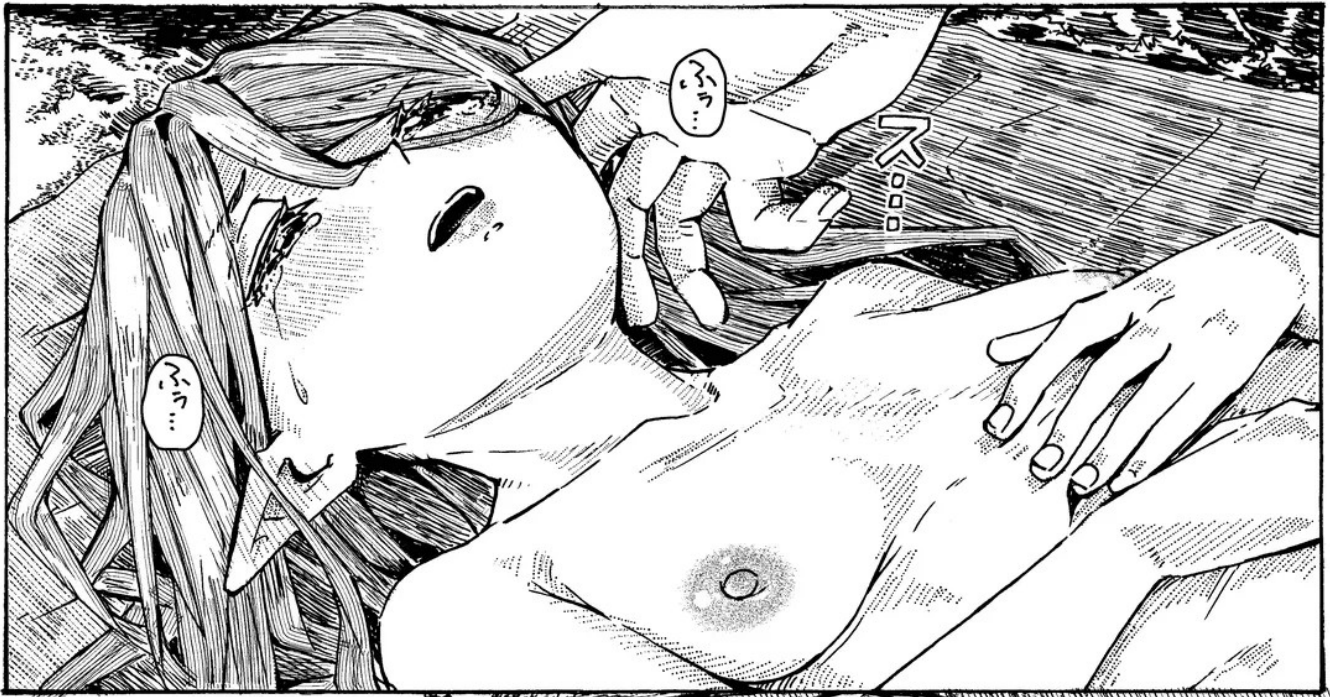
はあ...

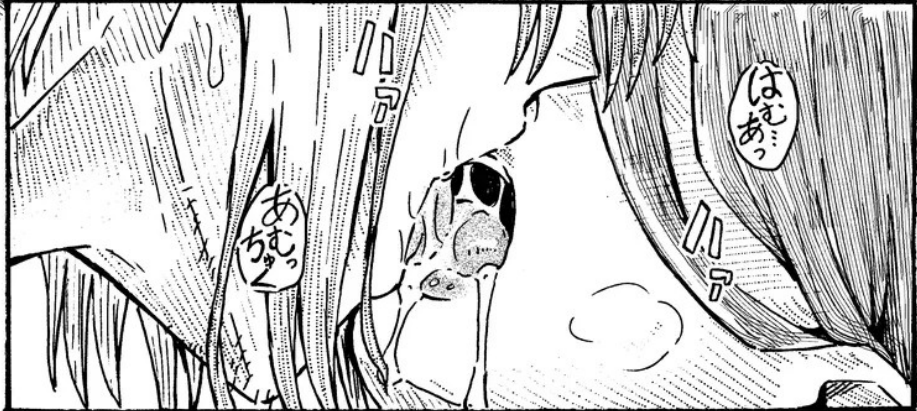
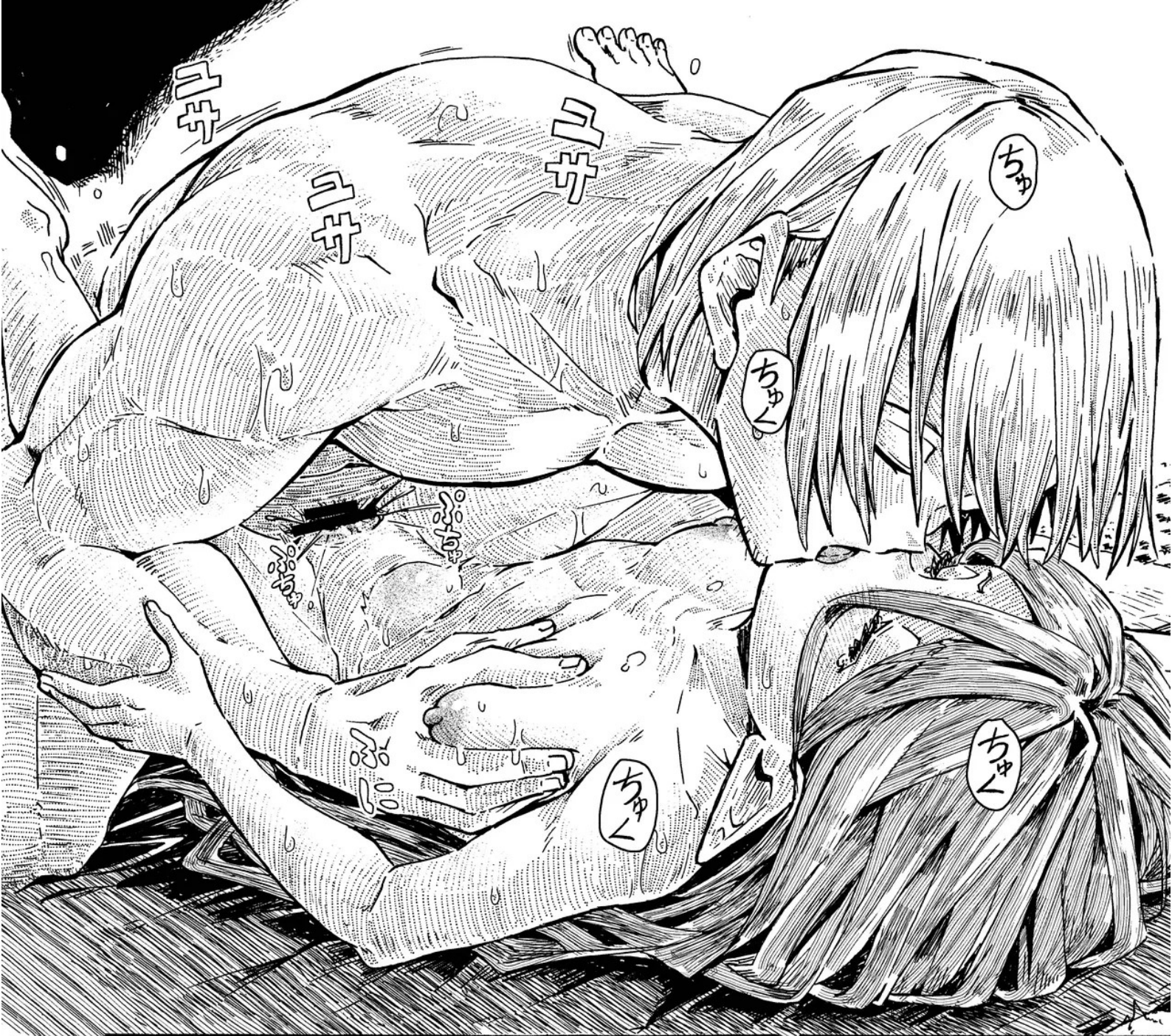
はあ

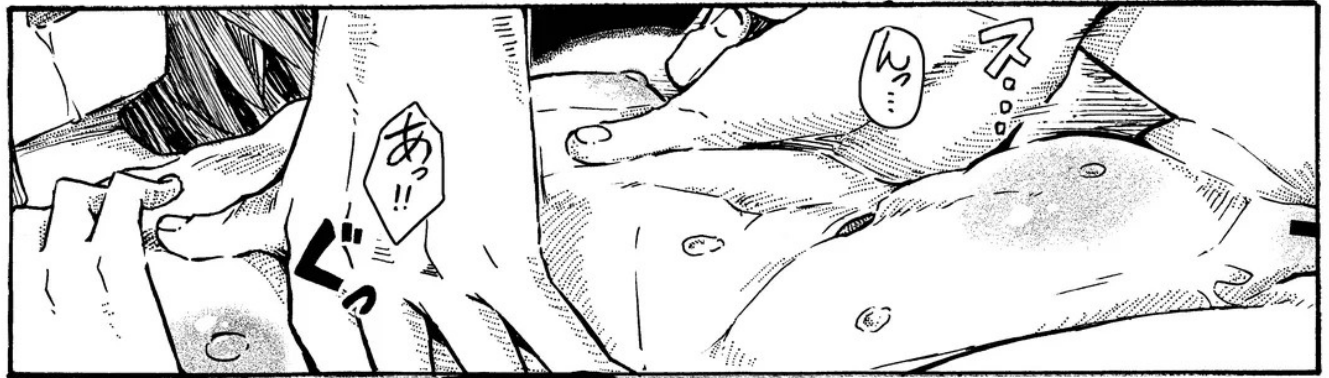
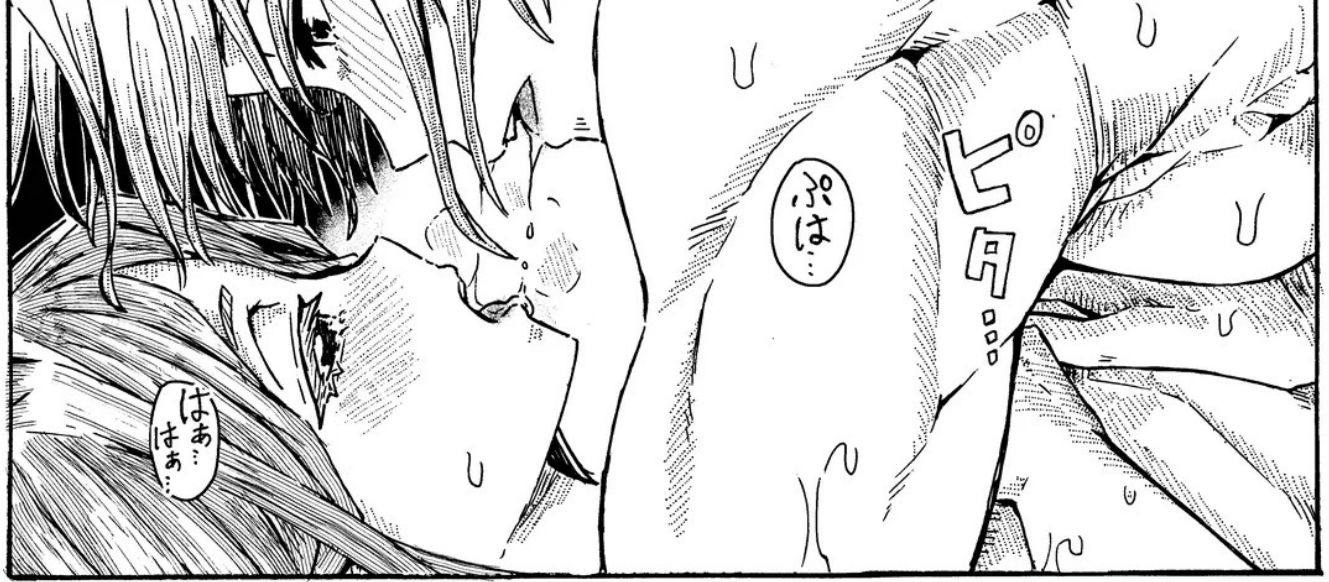


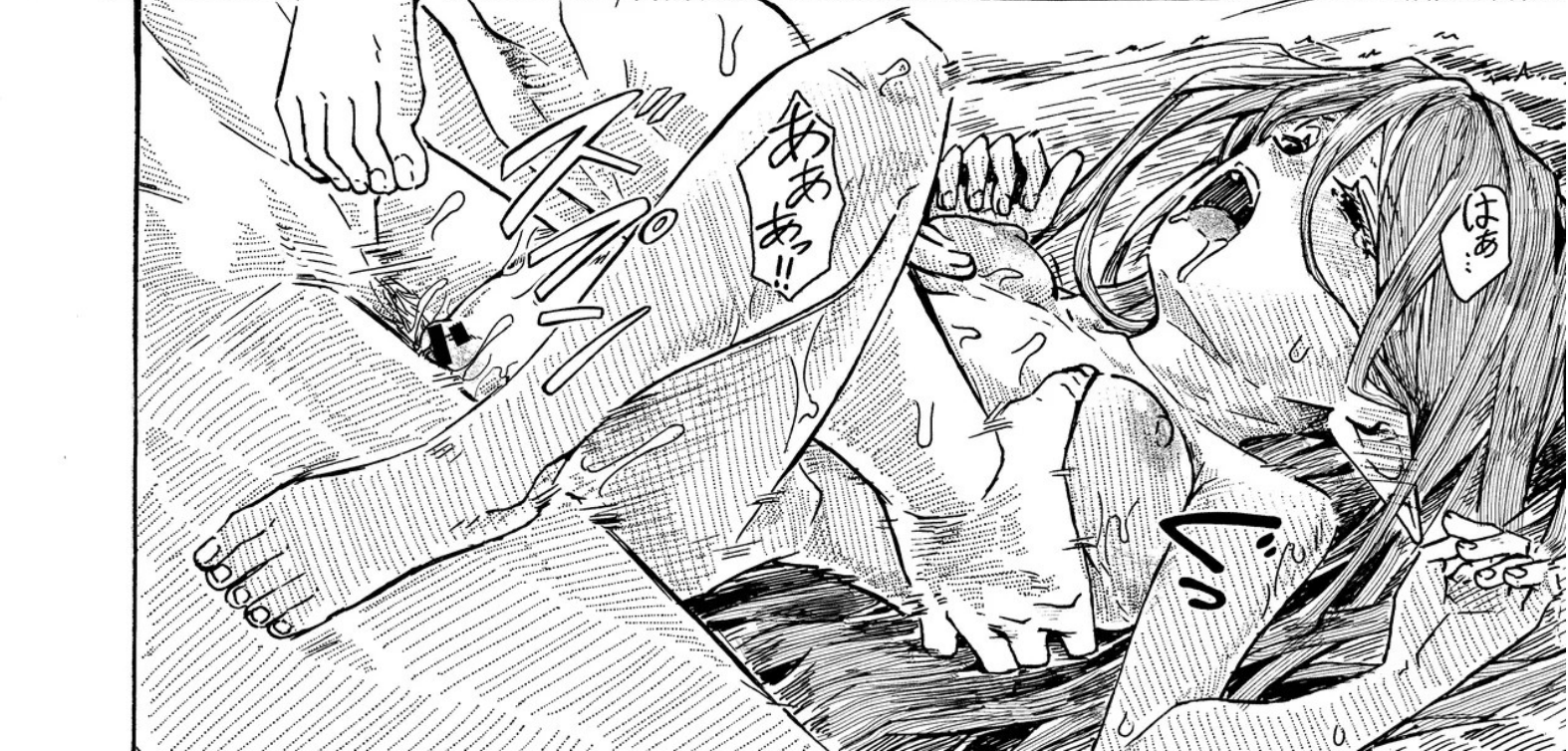
















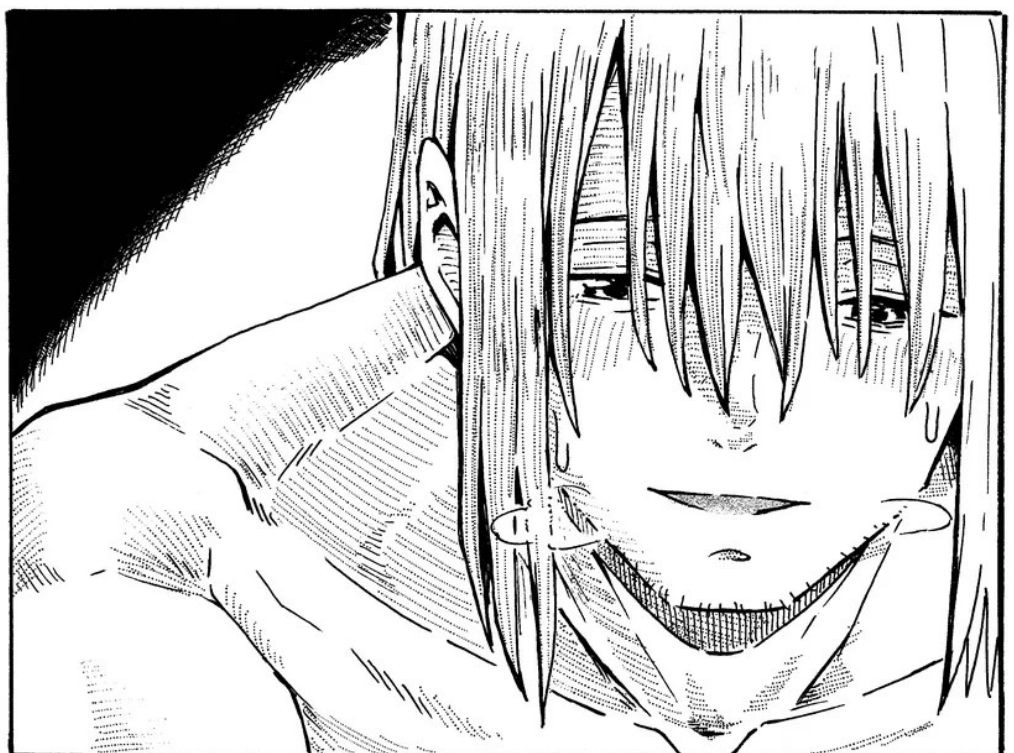
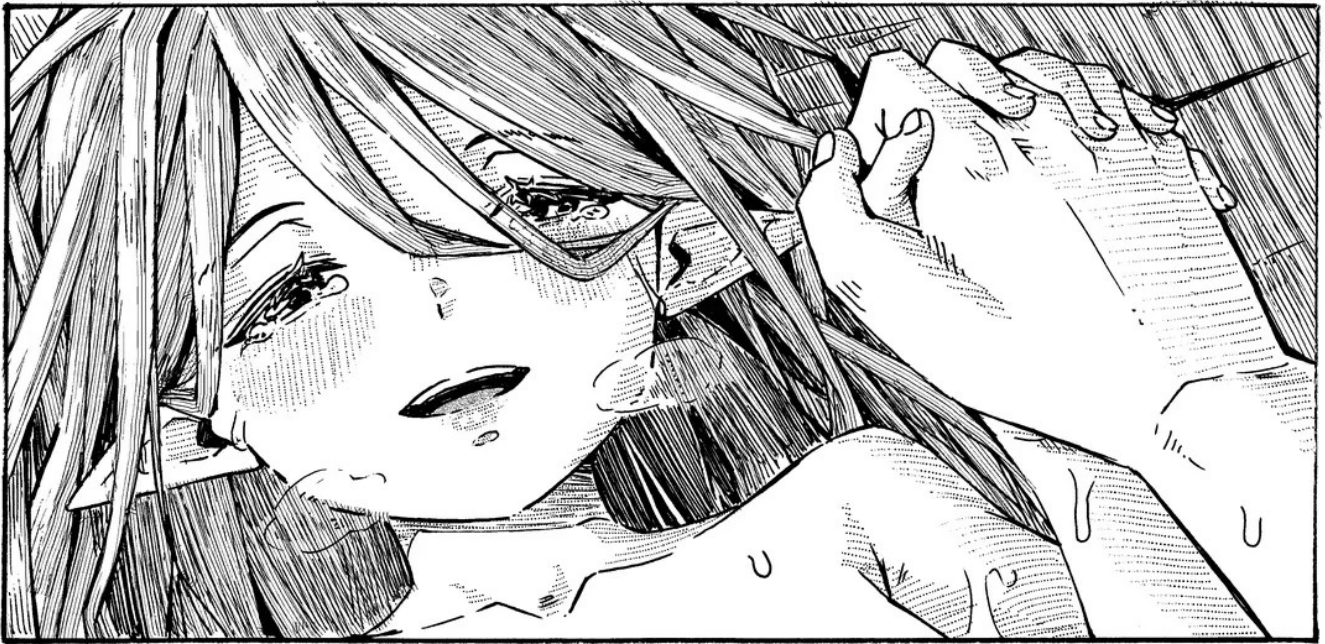
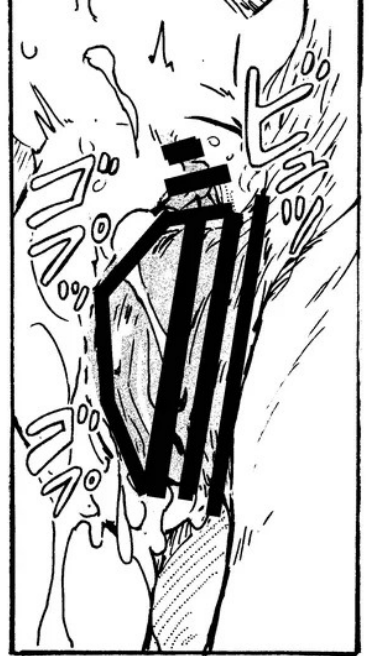
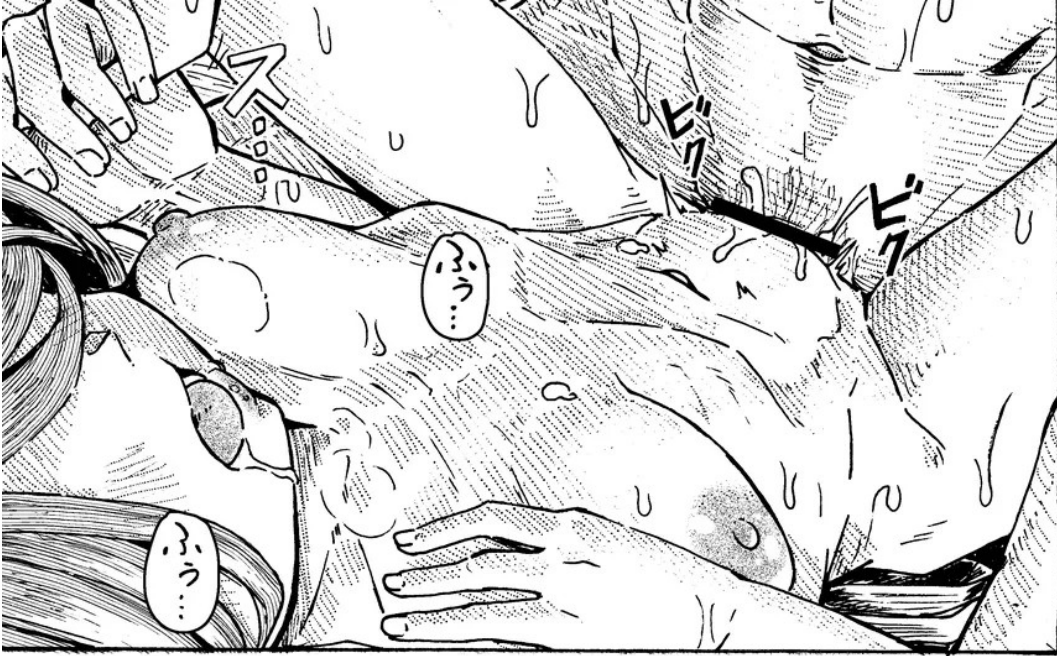
あああ
あああ!!

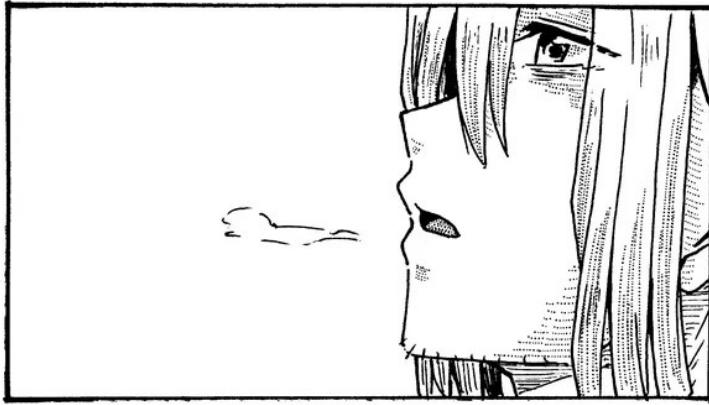
あ
あ
あ

あ
あ
あ

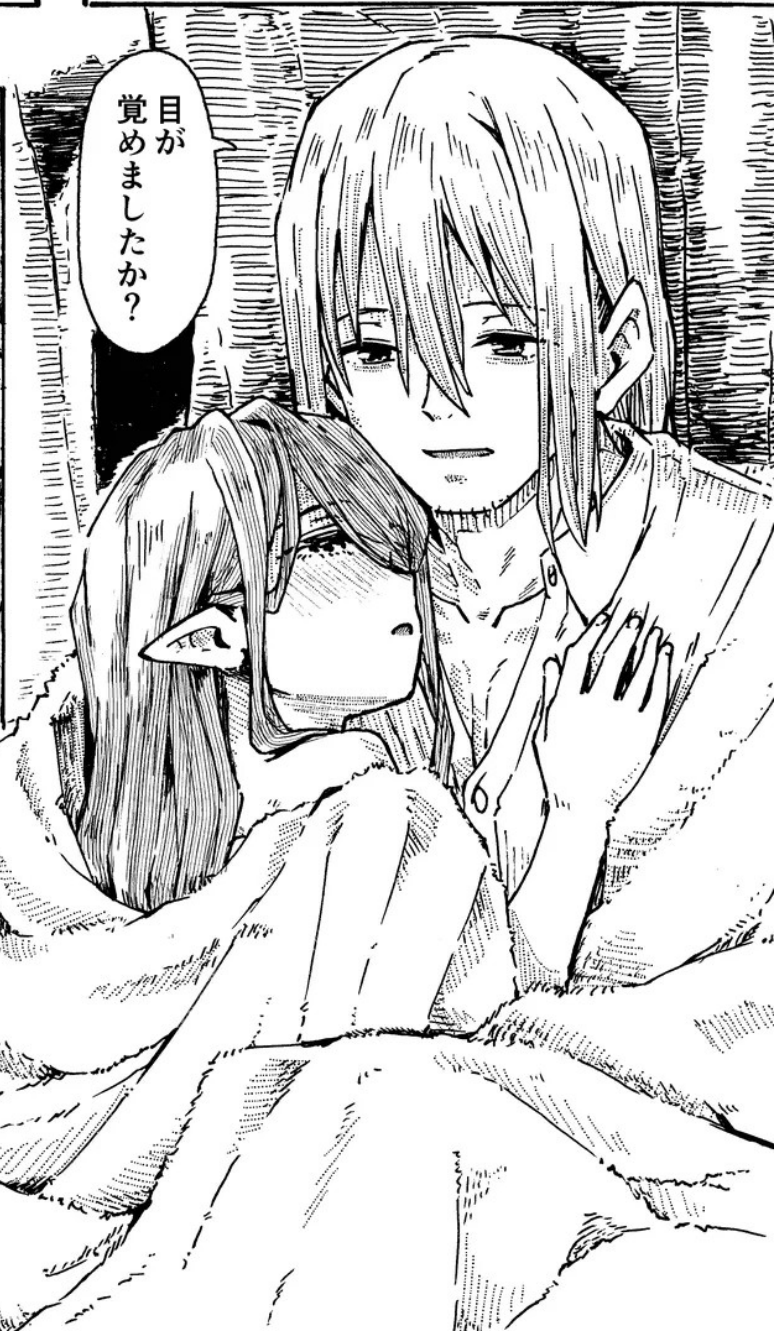
あ
あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ





目が
覚めましたか？





目が冴えて
しまつて…

とても刺激的な
夜だったので…

……

ギ

プキ



ずっと
起きていらした
んですか？

ええ…まあ



考え事？

はい

少々
考え事を…

なので



森を出た後のことを…

…どう、
されるんですか？



そうですね
とりあえず近くの
街で休もうかと：

まち？

たくさんの方が
暮らしていて

色々なモノが
ある場所です



美味しい料理や

ちゃんとした
寝床も

最近では湯浴みの
できる施設なんかも
あります：

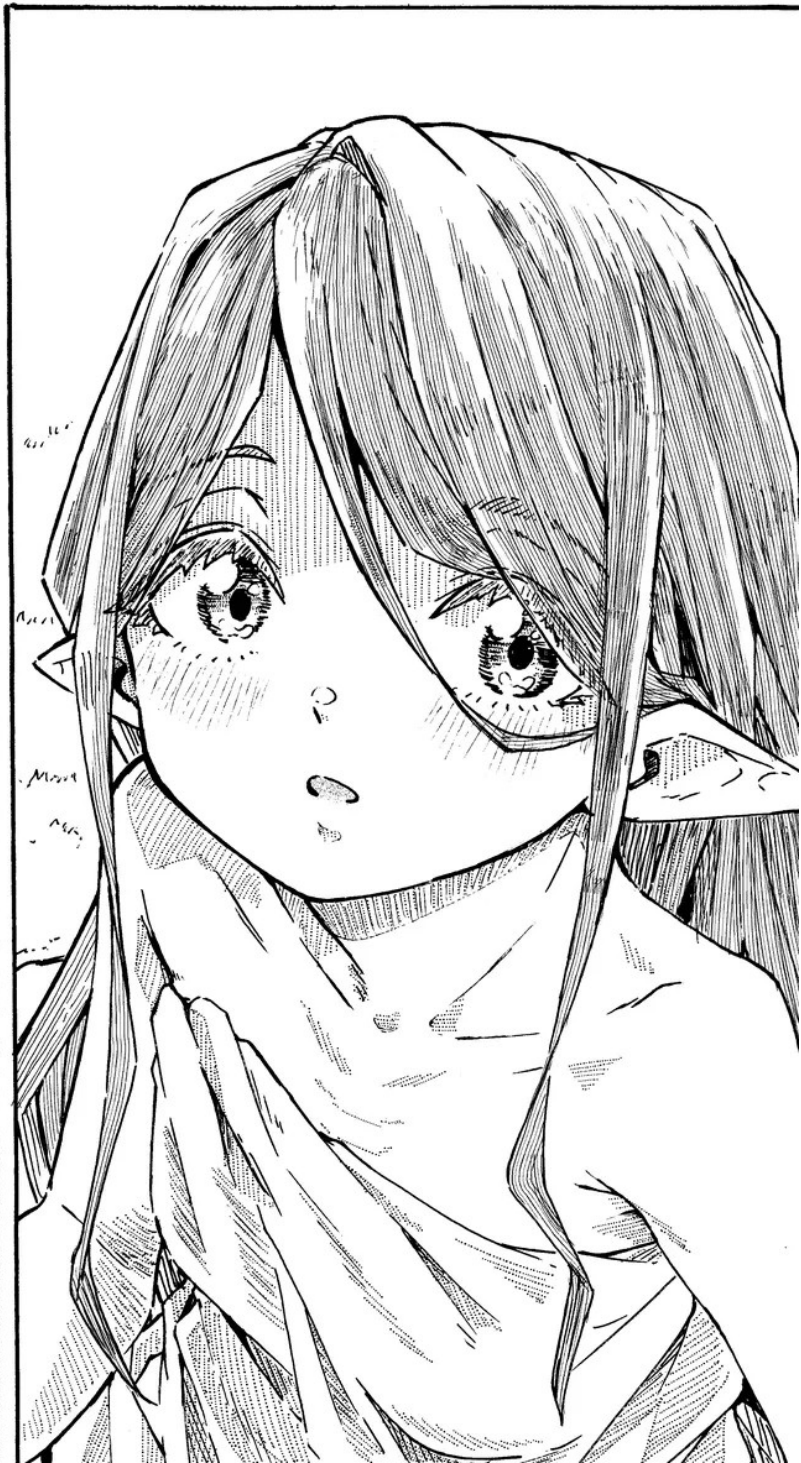
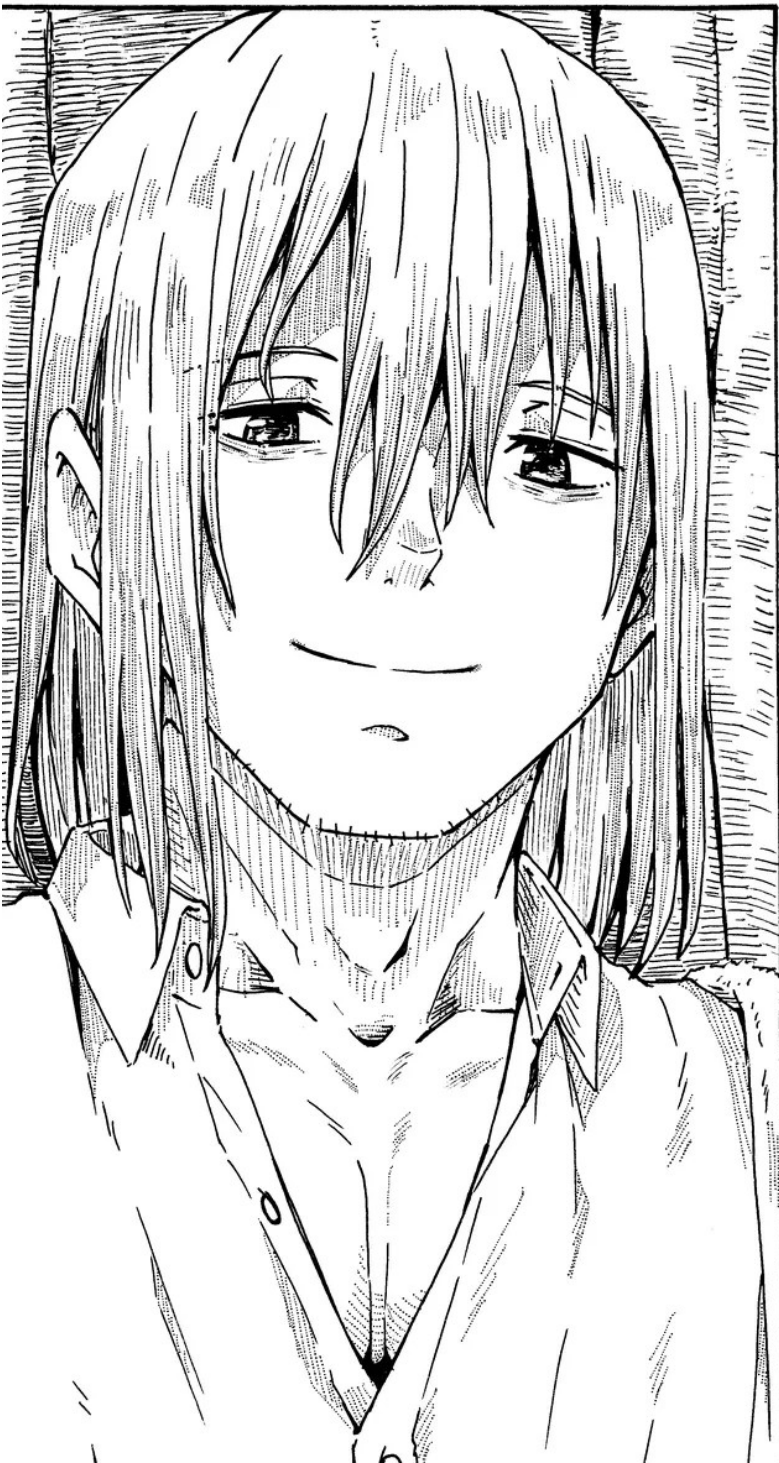
これがまた
いいんですよ

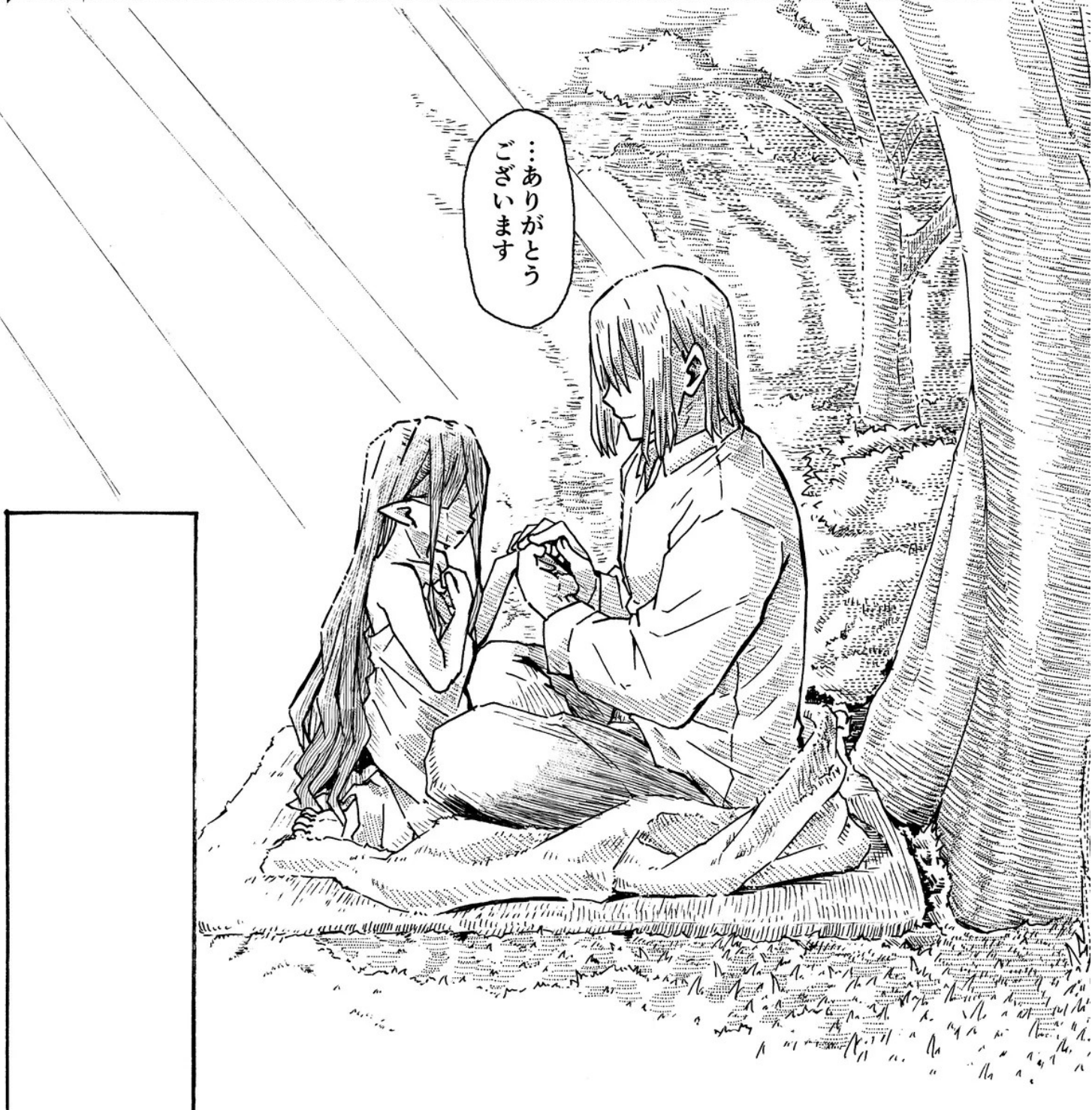
きつと：
素敵な場所なんで
しようね

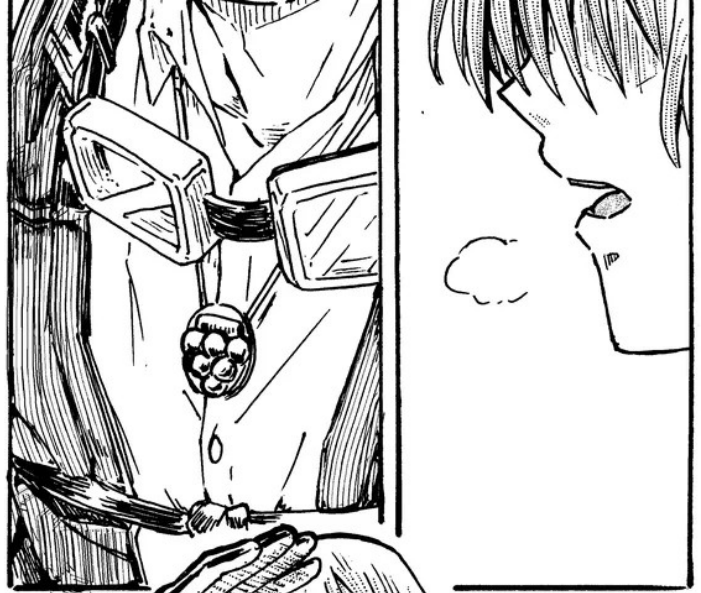
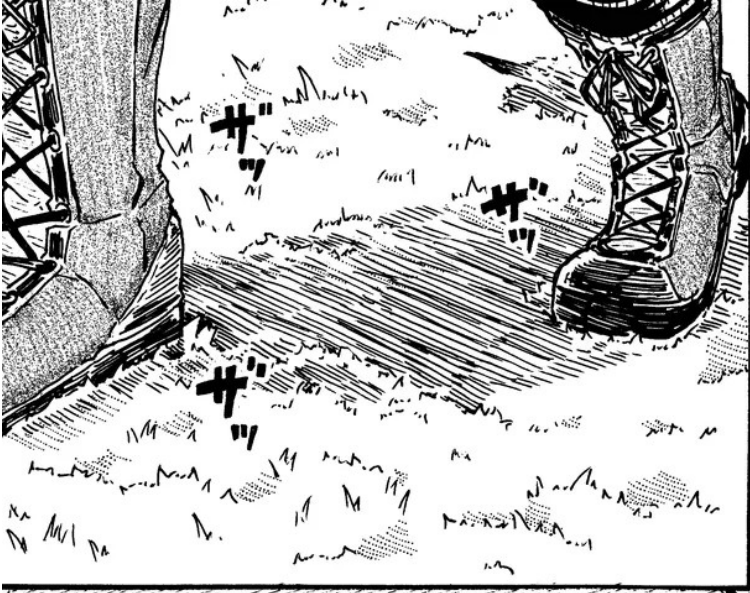
ええ

そこでゆっくり
休んだら：

また一緒に
旅に出ましよう



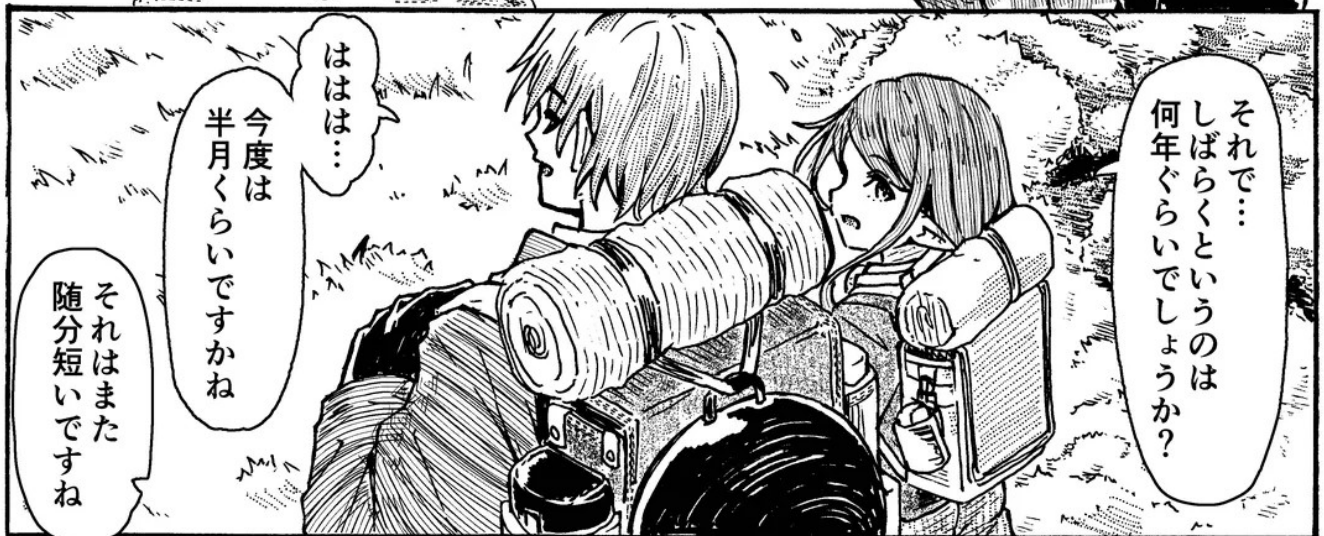




…あれが
次の街ですか？



長旅でしたし



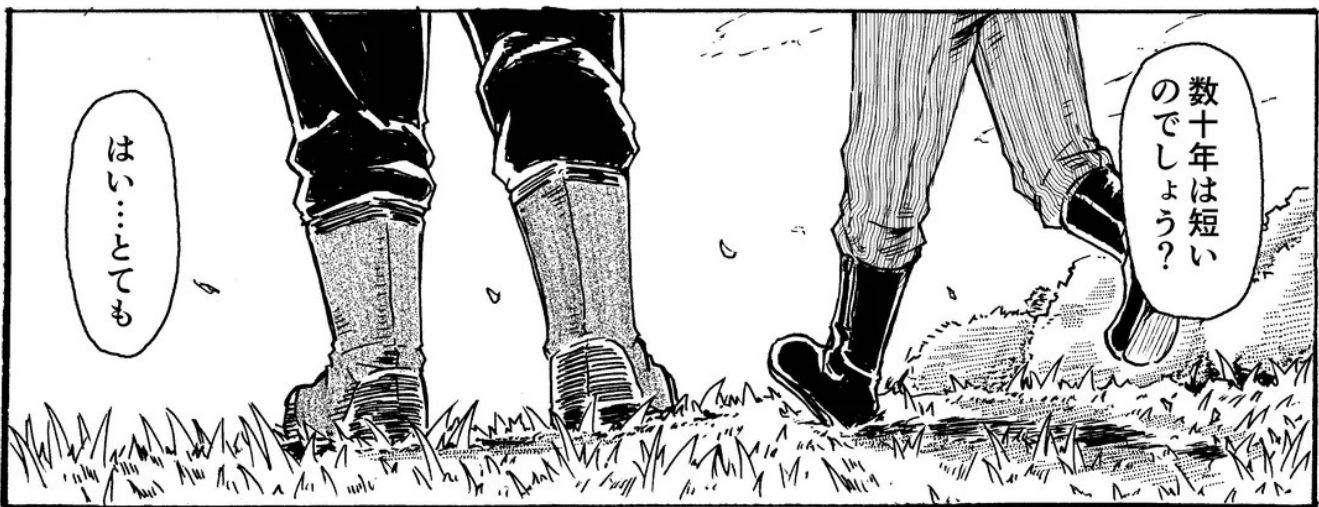


それじゃ残された時間もあつという間ですよ

エルフが悠長すぎるだけです

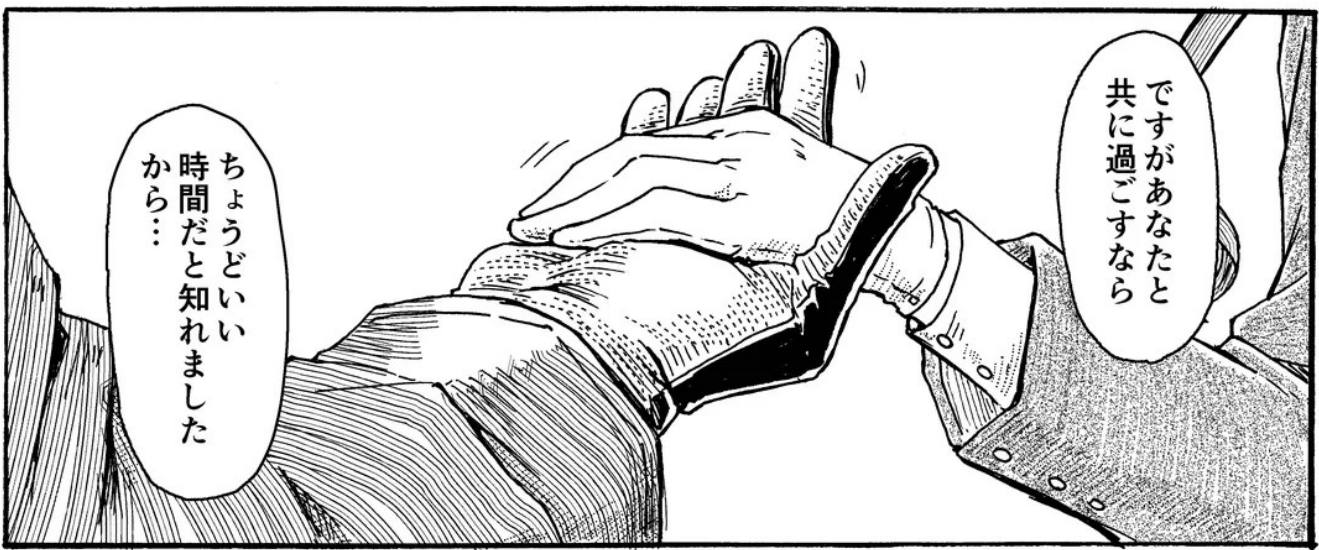


本当に人の時間は忙しなくて目まぐるしいですね…



は……とでも

数十年は短いのでしょうか？



ちょうどいい時間だと知れましたから…

ですがあなたと共に過ごすなら

短い時間ですが…

これからも
末永くよろしく
お願いします



－ 奥付 －

『エルフの終活』

著者：ハードボイルドよし子

HP：<https://katayudeegg.com/>

(Mail：katayude445boil@gmail.com)

発行：かたゆでたまご

(代表：ハードボイルドよし子)

- ・本書の内容は全てフィクションです。
- ・実在の人物・団体・事件・名称・史実・事象とは一切関係がありません。
- ・本書の18歳未満の方の購入・閲覧は禁じます。

・本書の無断販売・複製・転載
WEB上へのアップロードは禁じます。

